

苫前町
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査報告書

令和6年11月
苫前町教育委員会

— 目次 —

I. 調査の概要.....	1
1 調査目的	1
2 調査の種類と実施方法	1
3 回収結果	1
4 報告書をみる際の注意	1
II. 就学前児童アンケート調査結果.....	2
1 お住まいの地域について	2
(1) 居住地区.....	2
2 子どもとご家族の状況について	2
(2) 子どもの年齢.....	2
(3) 子どもの人数と末子の年齢.....	3
(4) 回答者の続柄.....	4
(5) 回答者の配偶関係.....	4
(6) 子育ての主な担い手.....	5
3 育ちをめぐる環境について	5
(7) 子育てに日常的に関わる方.....	5
(8) 子育てにもっとも影響を与えると思う環境.....	6
(9) 子どもをみてもらえる親族・知人.....	6
(10) 親族に子どもをみてもらう状況	7
(11) 友人・知人に子どもをみてもらう状況	7
(12) 子育ての相談先の存在	8
(13) 子育ての相談先	8
4 保護者の就労状況について	9
(14) 保護者の就労状況	9
(15) 保護者のフルタイムへの転換希望	11
(16) 保護者の就労希望	12
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	13

(17) 定期的な教育・保育事業の利用状況	13
(18) 平日利用している教育・保育事業	14
(19) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	14
(20) 現在利用している教育・保育事業の実施場所	16
(21) 平日に定期的な教育・保育事業を利用する理由	16
(22) 平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由	17
(23) 定期的に利用したい事業	18
(24) 教育・保育事業を利用したい場所	18
(25) 幼稚園の強い利用希望	19
6 地域の子育て支援事業の利用状況について	19
(26) 利用している地域子育て支援事業	19
(27) 地域子育て支援事業の利用希望	20
(28) 地域子育て支援事業の認知度や利用経験・利用希望	21
7 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について	23
(29) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	23
(30) 土曜日と日曜・祝日にたまに利用したい理由	25
(31) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	25
(32) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由	26
8 子どもが病気の際の対応について	26
(33) 子どもが病気等で通常の事業が利用できなかった経験	26
(34) 子どもが病気等の際の対処方法	27
(35) 病児・病後児保育施設等の利用希望	28
(36) 子どもが病気やけがの際に預けるのに望ましい事業形態	29
(37) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	29
(38) 父母が仕事を休んで看たいと思ったか	30
(39) 仕事を休んで看ることが難しい理由	30
9 不定期の教育・保育事業等の利用について	31
(40) 不定期に利用している事業	31
(41) 不定期な教育・保育事業を利用していない理由	31
(42) 不定期な教育・保育事業の利用希望	32
(43) 私用等で預けるのに望ましい事業形態	33

(44) 短期入所生活援助事業の利用希望	33
10 5歳以上の子どもの放課後の過ごし方について	34
(45) 小学校1～3年生の間の放課後の利用希望場所	34
(46) 小学校4～6年生の間の放課後の利用希望場所	35
(47) 土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望	37
(48) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	39
11 職場の両立支援制度について	40
(49) 父母の育児休業の取得状況	40
(50) 育児休業給付及び保険料免除の仕組みの認知度	42
(51) 育児休業取得後の職場復帰状況	43
(52) 職場に復帰した時期	44
(53) 職場復帰したときの子どもの年齢	45
(54) 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望	46
(55) 希望の時期に復帰しなかった理由	47
(56) 短時間勤務制度利用の有無	48
(57) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	49
(58) お子さんを必ず預けられる事業がある場合の育児休業取得について	49
12 子育てについて	50
(59) 苫前町の子育ての満足度	50
(60) 子育てをする上での不安や悩み	51
(61) 必要な子育て支援策	52
(62) 本町の子育てのしやすさ	53
(63) 自由意見	54
Ⅲ. 小学生児童アンケート調査結果	55
1 子どもとご家族の状況について	55
(1) 居住地区	55
2 子どもとご家族の状況について	55
(2) 子どもの年齢	55
(3) 子どもの人数と末子の年齢	56
(4) 回答者の続柄	57

(5) 回答者の配偶関係.....	57
(6) 子育ての主な担い手.....	58
3 保護者の就労状況について	58
(7) 保護者の就労状況.....	58
(8) 保護者のフルタイムへの転換希望.....	61
(9) 保護者の就労希望.....	62
3 子どもの放課後の過ごし方について	63
(10) 小学校1～3年生の間の放課後の利用希望場所	63
(11) 小学校4～6年生の間の放課後の利用希望場所	64
(12) 土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望	66
(13) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	68
(14) 苫前町の子育ての満足度	69
(15) 必要な子育て支援策	70
(16) 本町の子育てのしやすさ	71
(17) 自由意見	72

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「苫前町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、保護者の皆様の子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望のほか、要望や意見などを把握し、子育て支援施策を進めていくための基礎資料として実施しました。

2 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

項目	就学前児童の保護者	小学生の保護者
調査対象	令和6年5月1日現在、町内に在住する未就学児童の保護者	令和6年5月1日現在、町内に在住する小学生の保護者
調査方法	認定子ども園経由又は直接郵送による調査	小学校経由による調査
調査期間	令和6年5月22日～6月28日	

3 回収結果

種別	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	59 件	48 件	81.4%
小学生児童	79 件	64 件	81.0%

4 報告書をみる際の注意

- ・ 回答項目の比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100%を超える場合があります。
- ・ 図表中の「n=○」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・ 単数回答は選択肢の数に応じて帯グラフ又は棒グラフ、複数回答はすべて棒グラフとしています。複数回答の棒グラフは、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合による降順としています。年齢や日数等、数量で回答していただいた間については、数量増加に伴う割合の変化がわかるよう階級順の棒グラフとしています。
- ・ 問の中には「～と回答した方におたずねします。」などいろいろな限定があり、回答者が少ない場合は、数人の違いで割合が大きく変わることがあります。回答者が少ない設問はグラフではなく人数の表にしています。

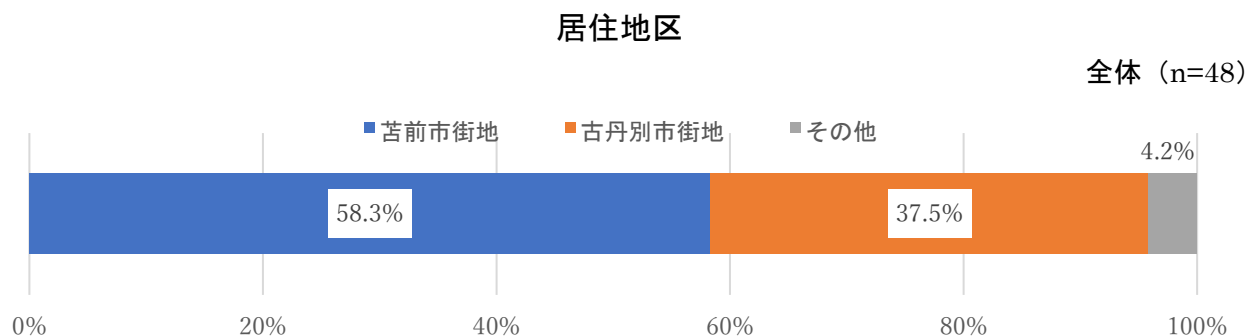
Ⅱ. 就学前児童アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどちらですか。

居住地区については、「苫前市街地」の割合が58.3%で、「古丹別市街地」は37.5%となっています。

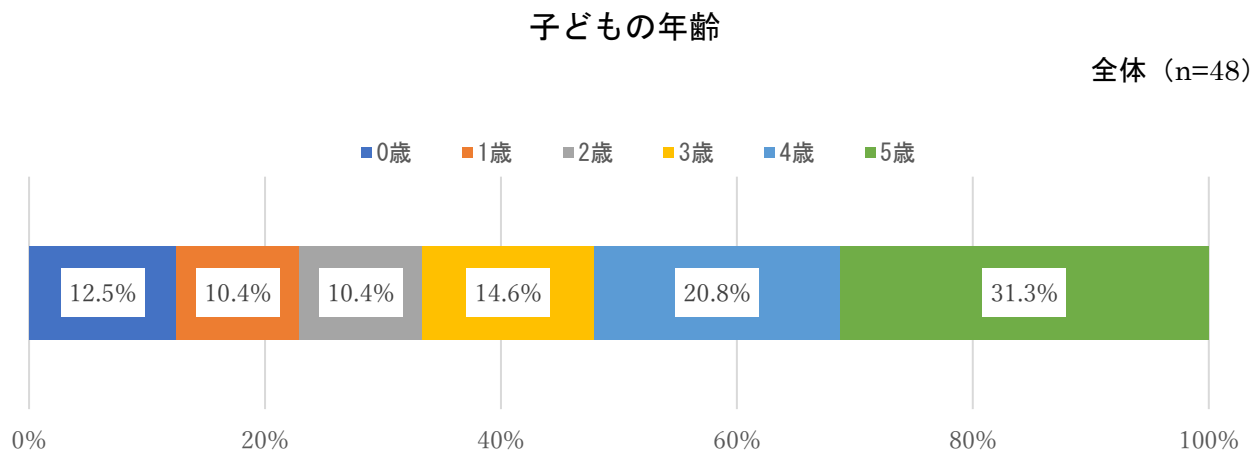


2 子どもとご家族の状況について

(2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢をお答えください。

子どもの年齢については、「5歳」の割合が31.3%で最も高く、次いで「4歳」(20.8%)が続き、以下「3歳」(14.6%)、「0歳」(12.5%)、「1歳」「2歳」(同率10.4%)の順となっています。



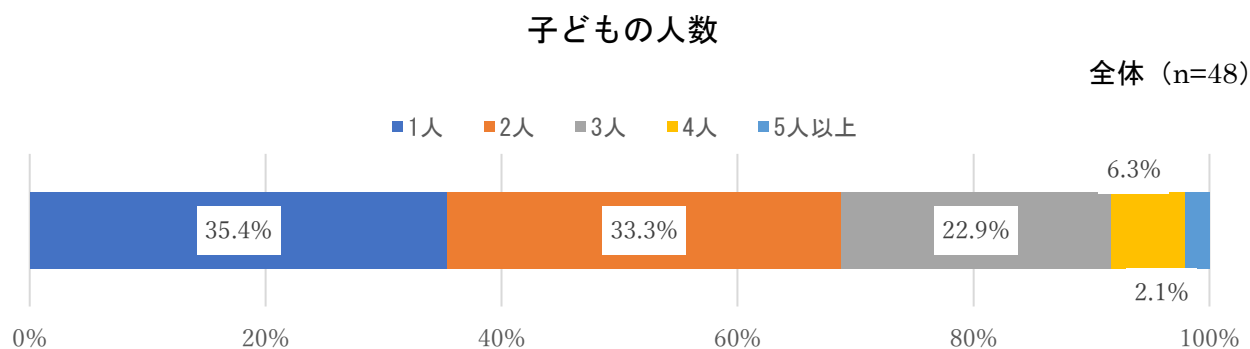
(3) 子どもの人数と末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

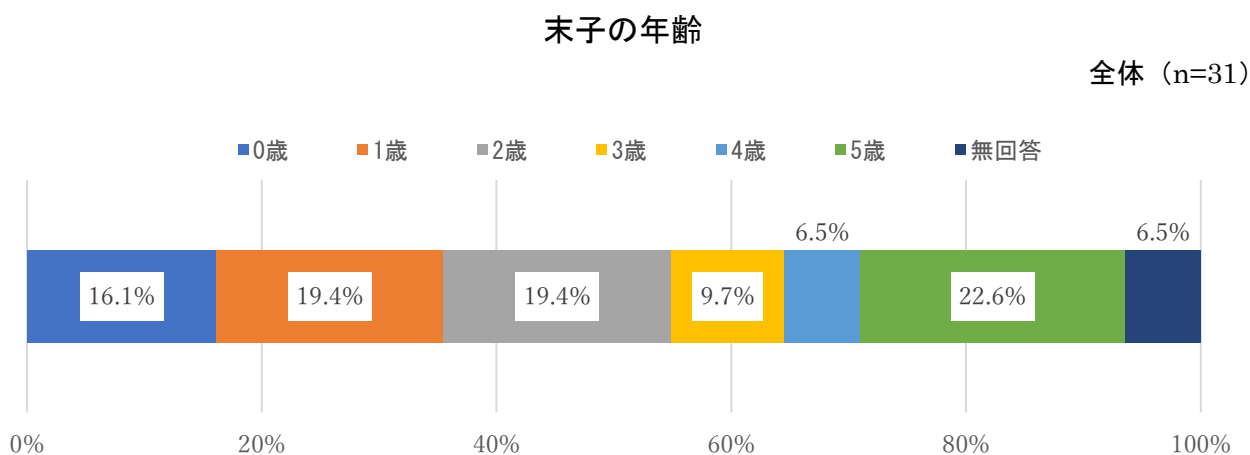
※宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の年齢をお答えください。

子どもの人数については、「1人」の割合が35.4%で最も高く、次いで「2人」(33.3%)、「3人」(22.9%)が続き、以下「4人」(6.3%)、「5人以上」(2.1%)の順となっています。



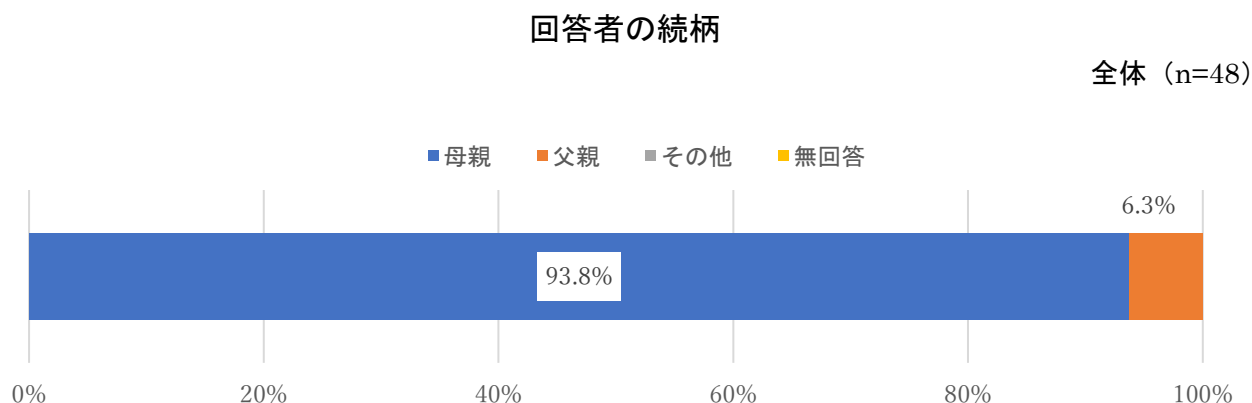
子どもにきょうだいがいる場合の末子の年齢については、「5歳」の割合が22.6%で最も高く、次いで「1歳」「2歳」(同率19.4%)が続き、以下「0歳」(16.1%)、「3歳」(9.7%)、「4歳」(6.5%)の順となっています。



(4) 回答者の続柄

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

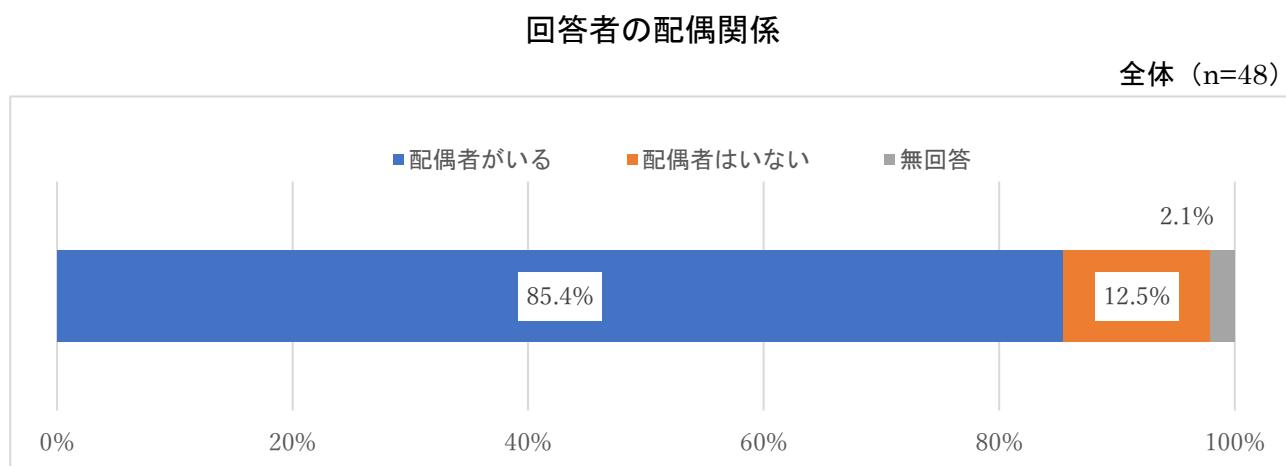
回答者の続柄については、「母親」の割合が93.8%で、「父親」(6.3%)の割合を大きく上回っています。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

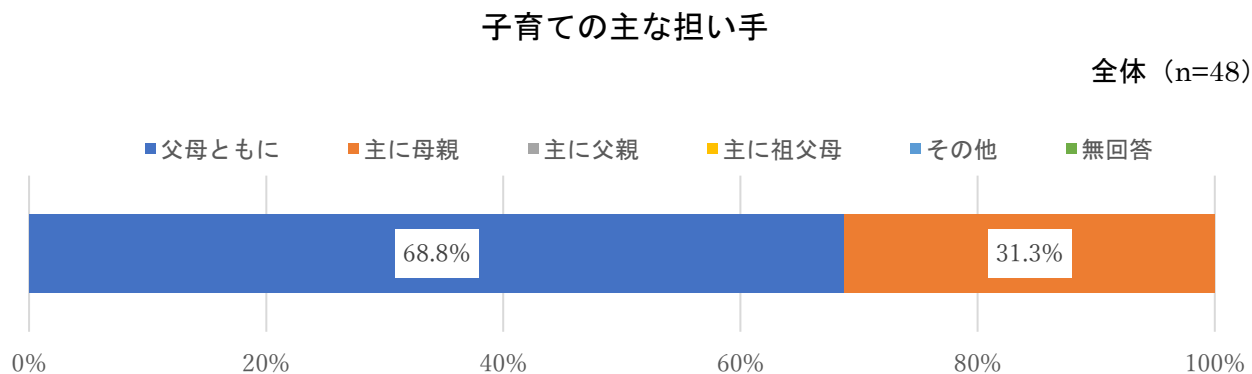
回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」の割合が85.4%で、「配偶者はいない」(12.5%)の割合を大きく上回っています。



(6) 子育ての主な担い手

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。

子育ての主な担い手については、「父母ともに」の割合が68.8%で最も高く、次いで「主に母親」（31.3%）が続いています。

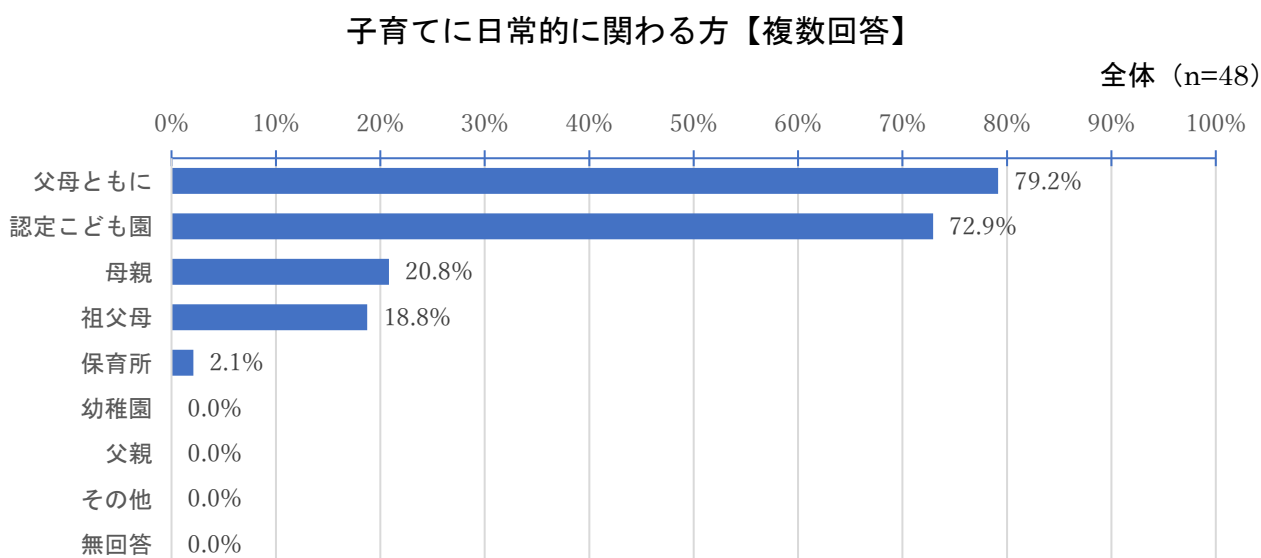


3 育ちをめぐる環境について

(7) 子育てに日常的に関わる方

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。【複数回答】
※お子さんからみた関係でお答えください。

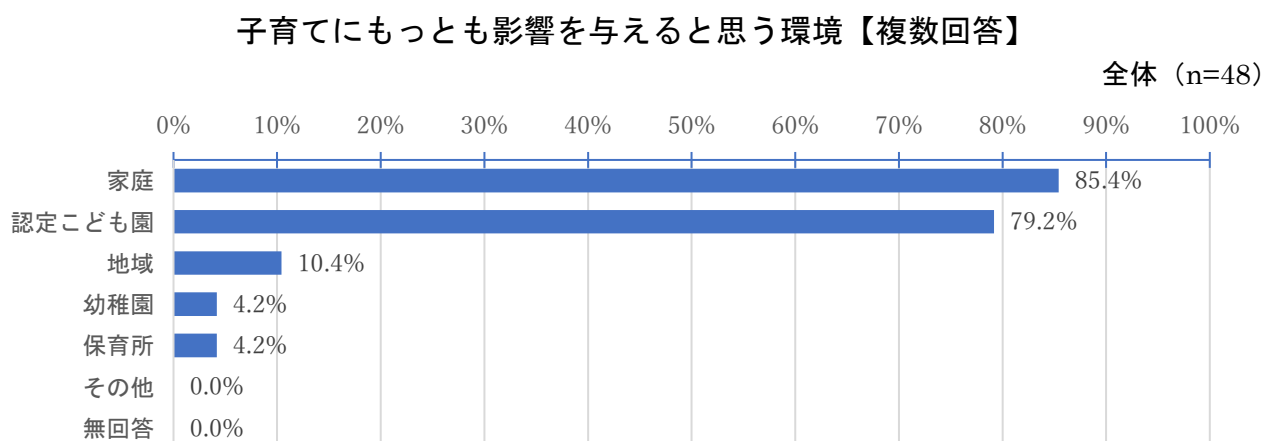
子育てに日常的に関わる方については、「父母ともに」の割合が79.2%で最も高く、次いで「認定こども園」（72.9%）が続き、以下「母親」（20.8%）、「祖父母」（18.8%）などの順となっています。



(8) 子育てにもっとも影響を与えると思う環境

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。【複数回答】

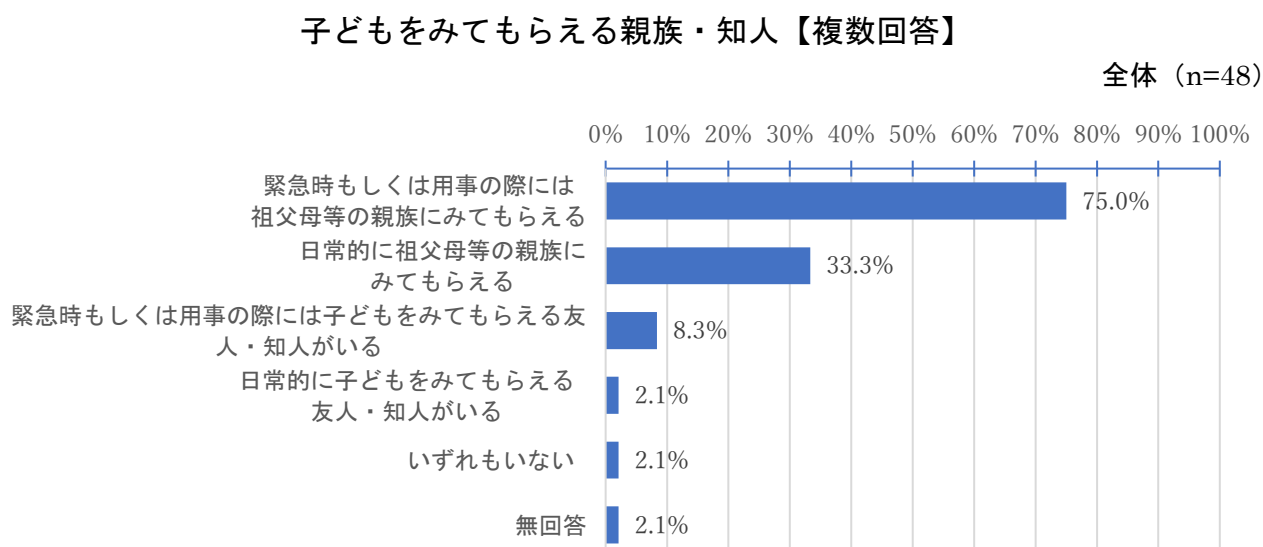
子育てにもっとも影響を与えると思う環境については、「家庭」（85.4%）、「認定こども園」（79.2%）が他を引き離します。次いで「地域」（10.4%）が続き、以下「幼稚園」「保育所」（同率4.2%）の順となっています。



(9) 子どもをみてもらえる親族・知人

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が75.0%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（33.3%）が続き、以下「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」（8.3%）、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」（2.1%）、「いずれもない」（2.1%）の順となっています。



(10) 親族に子どもをみてもらう状況

問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

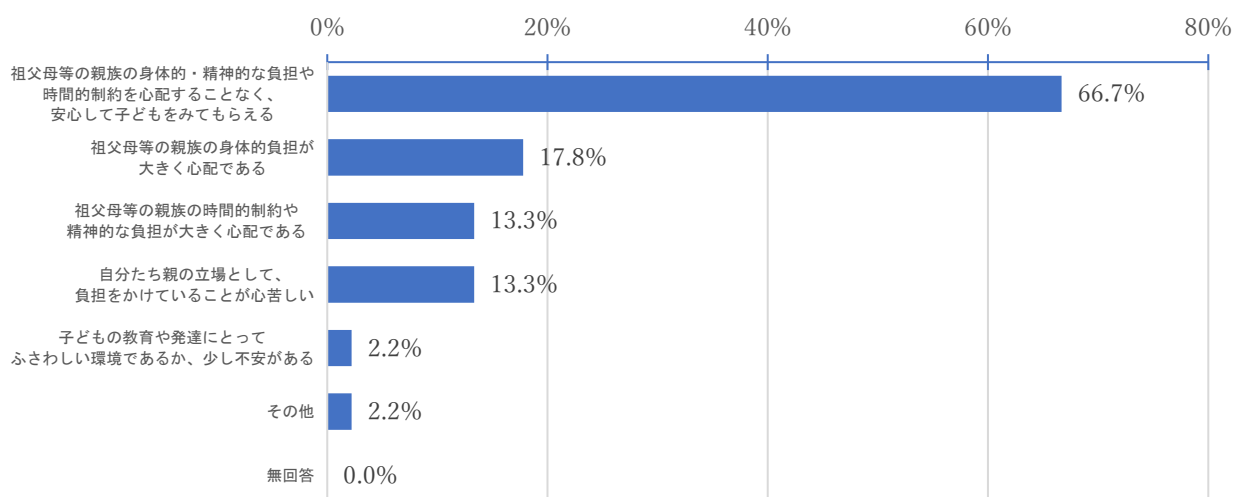
問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【複数回答】

親族に子どもをみてもらう状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が66.7%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(17.8%)が続き、以下「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(同率13.3%)などの順となっています。

親族に子どもをみてもらう状況【複数回答】

全体 (n=48)



(11) 友人・知人に子どもをみてもらう状況

問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【複数回答】

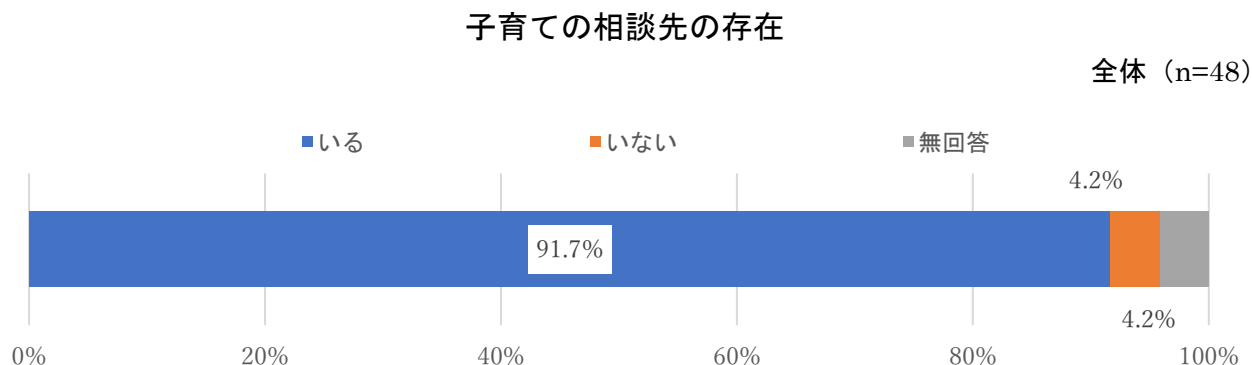
友人・知人に子どもをみてもらう状況【複数回答】

選択肢	n (人)
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	1
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	1
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	1
無回答	1
全体	4

(12) 子育ての相談先の存在

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育ての相談先の存在は、「いる／ある」の割合が91.7%で「いない／ない」（4.2%）の割合を大きく上回っています。

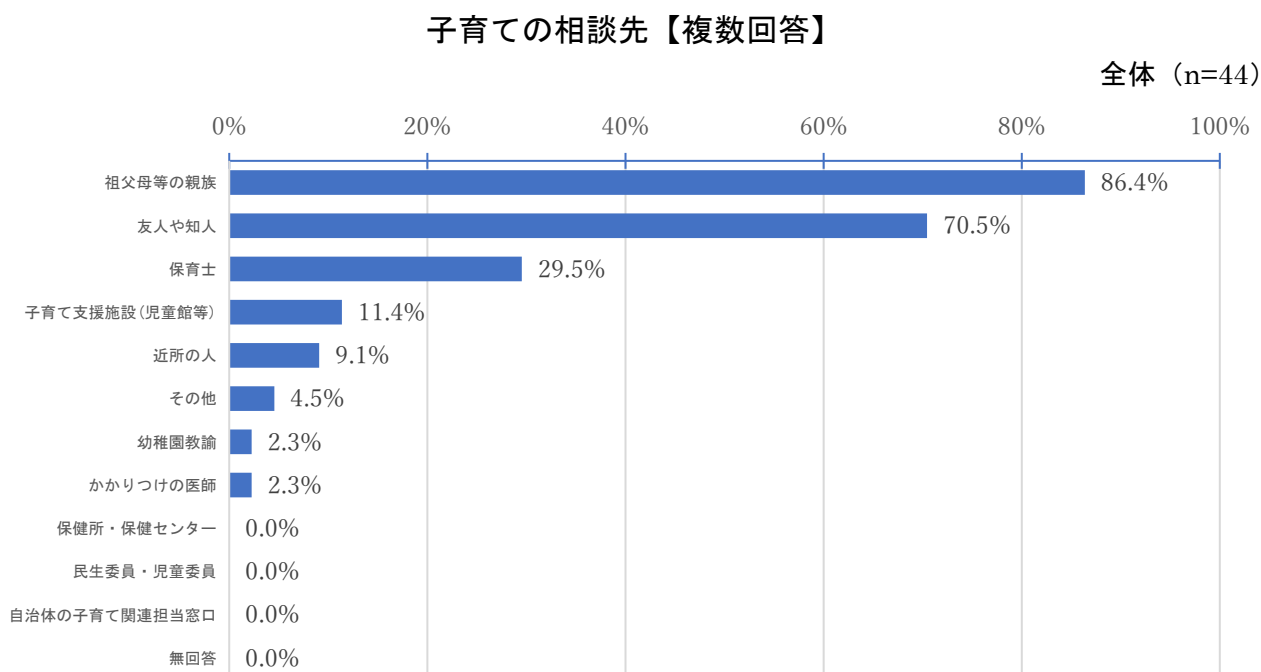


(13) 子育ての相談先

問10で「いる／ある」に○をつけた方にかがいます。

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。【複数回答】

子育ての相談先については、「祖父母等の親族」の割合が86.4%で最も高く、次いで「友人や知人」（70.5%）が続き他を引き離します。以下「保育士」（29.5%）などの順となっています。



4 保護者の就労状況について

(14) 保護者の就労状況

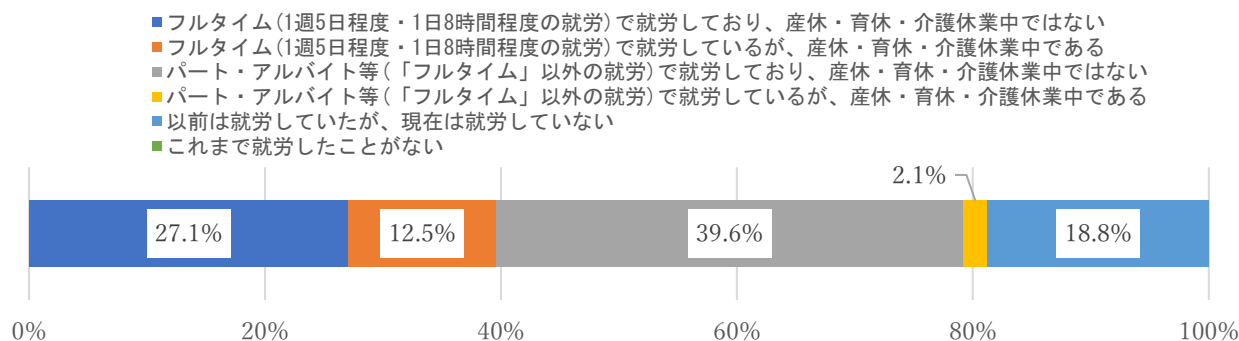
問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

①母親の就労状況

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が39.6%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（27.1%）が続き、以下「以前は就労していたが、現在は就労していない」（18.8%）などの順となっています。

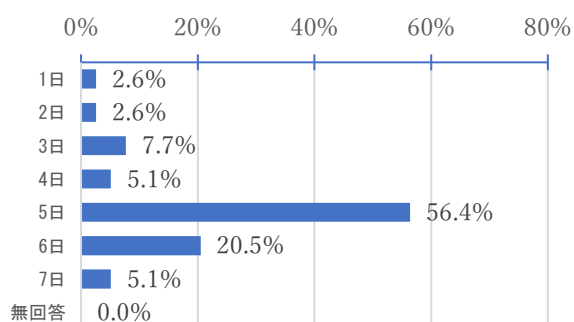
母親の就労状況

全体（n=48）



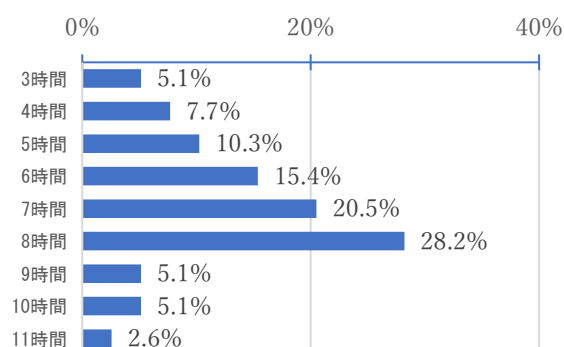
母親の1週当たりの就労日数

全体（n=39）



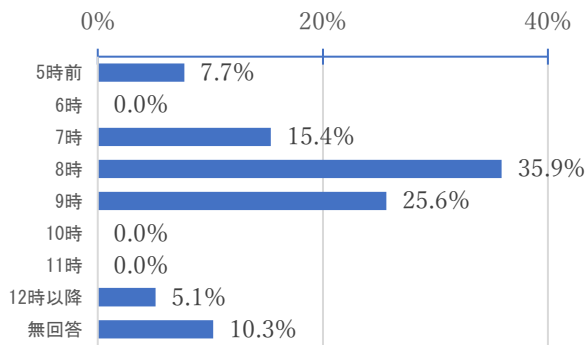
母親の1日当たりの就労時間

全体（n=39）



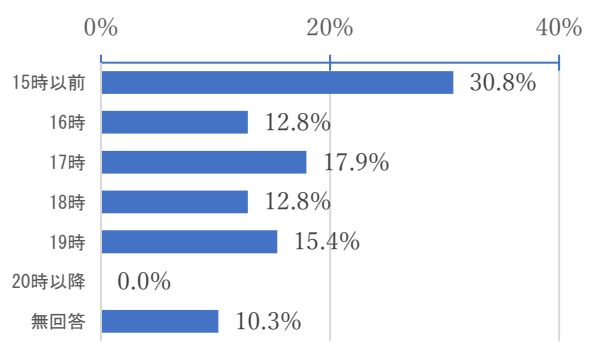
母親が家を出る時刻

全体 (n=39)



母親の帰宅時刻

全体 (n=39)

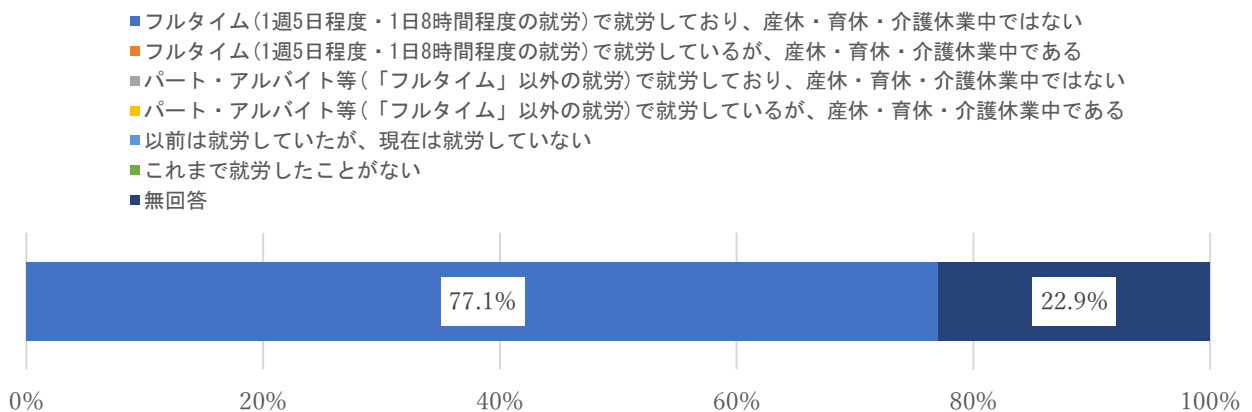


②父親の就労状況

父親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が77.1%で最も高く、8割弱を占めます。

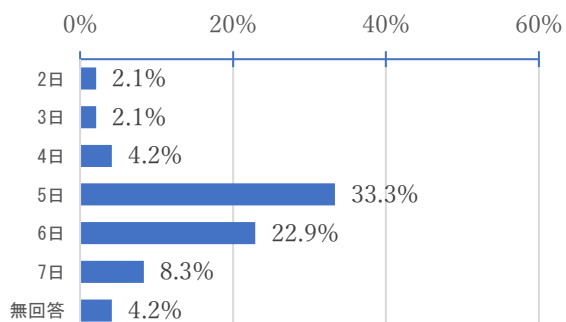
父親の就労状況

全体 (n=48)



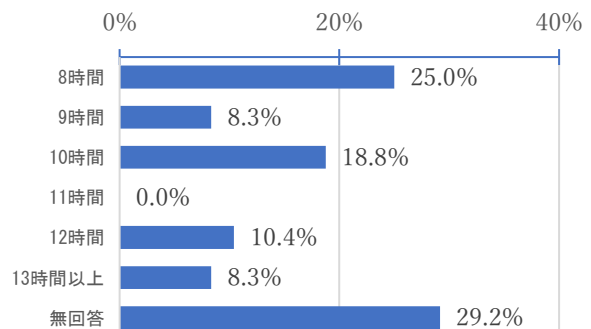
父親の1週当たりの就労日数

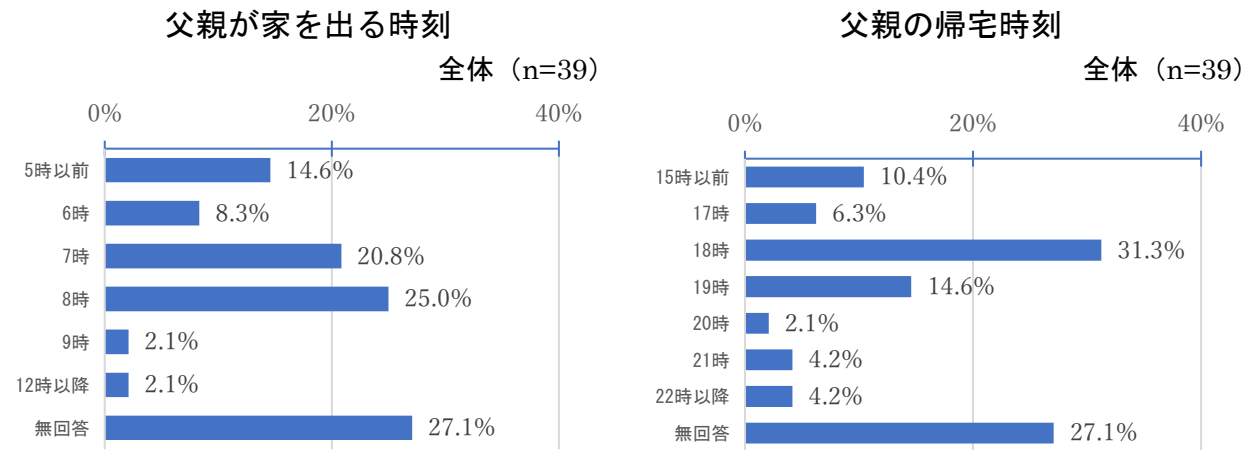
全体 (n=39)



父親の1日当たりの就労時間

全体 (n=39)





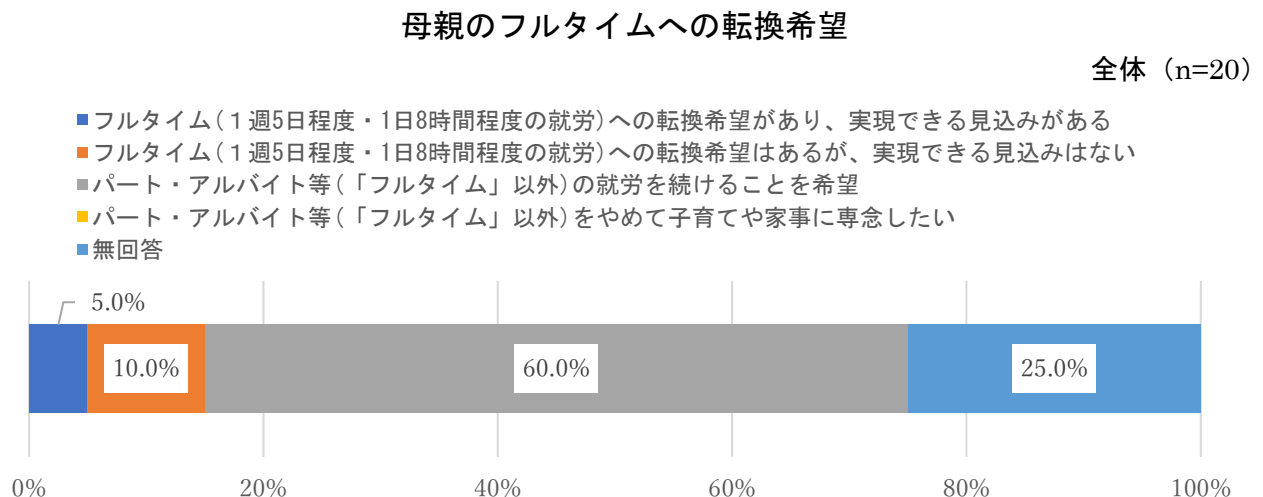
(15) 保護者のフルタイムへの転換希望

問12で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。

①母親のフルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が60.0%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（10.0%）が続き、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（5.0%）の順となっています。



②父親のフルタイムへの転換希望

父親のフルタイムへの転換希望については、該当者がいませんでした。

(16) 保護者の就労希望

問12で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

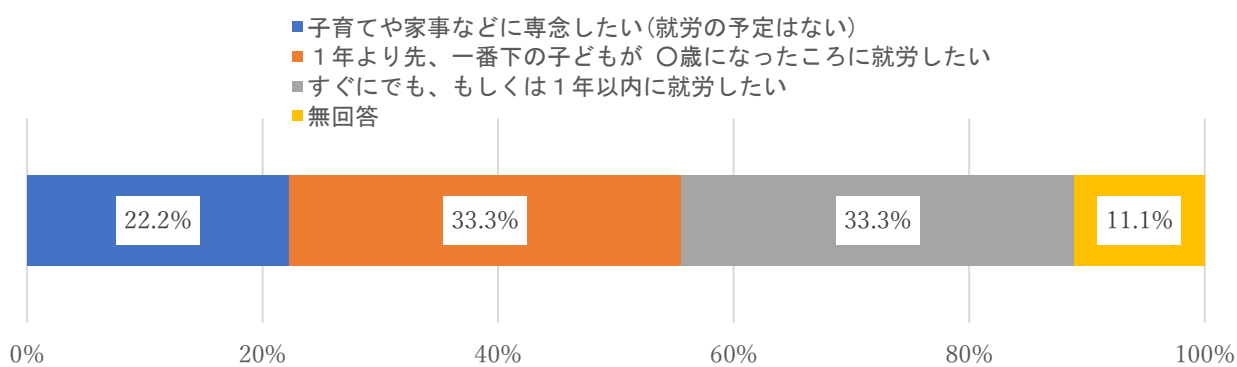
問14 就労したいという希望はありますか。

①母親の就労希望

母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（同率33.3%）が最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」（22.2%）の順となっています。

母親の就労希望

全体（n=9）



母親の就労希望時の末子の年齢

選択肢	n (人)
1 歳	2
2 歳	0
3 歳	2
全体	4

母親の希望就労形態

選択肢	n (人)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	1
パートタイム・アルバイト等（フルタイム以外）	2
無回答	1

母親の1週当たりの就労希望日数

選択肢	n (人)
4 日	1
5 日	3
全体	4

母親の1日当たりの就労希望時間

選択肢	n (人)
5 時間未満	2
5 時間以上	2
全体	4

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

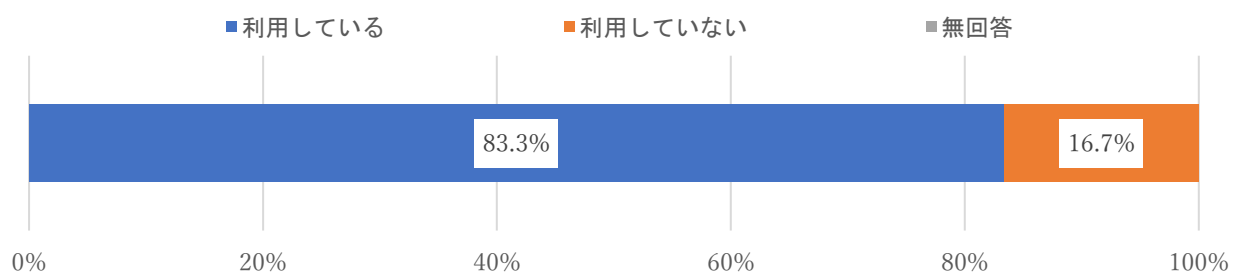
(17) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。

定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」の割合が83.3%で、「利用していない」(16.7%)を大きく上回っています。

定期的な教育・保育事業の利用状況

全体 (n=48)



(18) 平日利用している教育・保育事業

問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

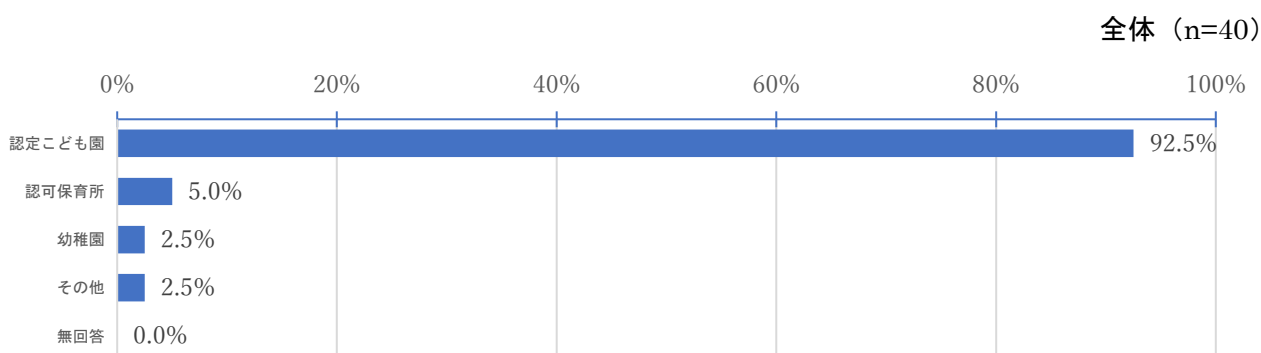
問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。

【複数回答】

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

平日利用している教育・保育事業については、「認定こども園」の割合が92.5%で他を引き離し、次いで「認可保育所」(5.0%)などが続いています。

平日利用している教育・保育事業【複数回答】



(19) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

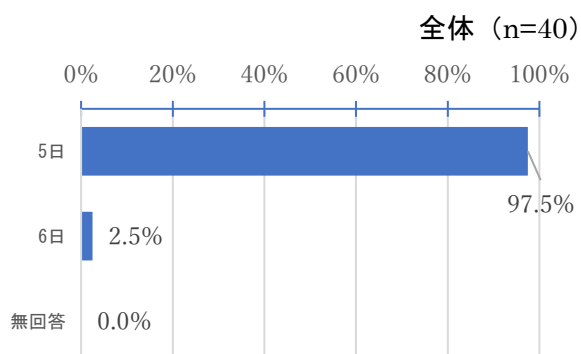
問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、1週当たりの利用日数は、現在と希望ともに「5日」の割合が最も高くなっています。

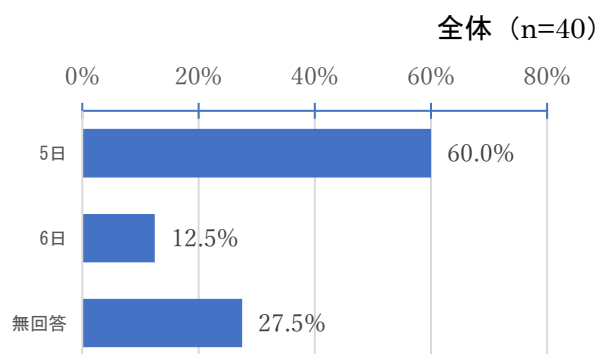
1日当たりの利用時間は、現在と希望ともに「8時間」「7時間」の割合が最も高くなっています。

利用開始時刻は、現在と希望ともに「8時」又は「9時」の割合が高く、利用終了時刻は、現在と希望ともに「16時」の割合が最も高くなっています。

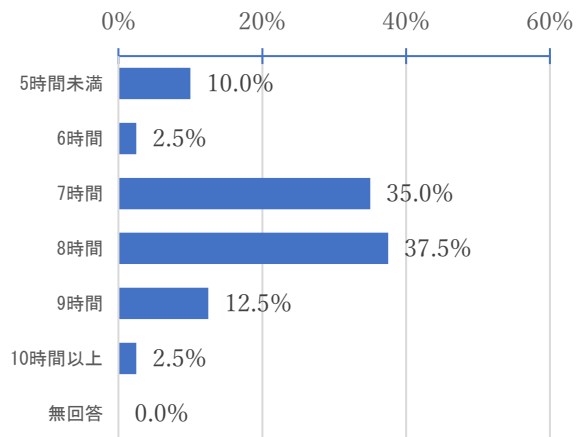
1週当たりの利用日数（現在）



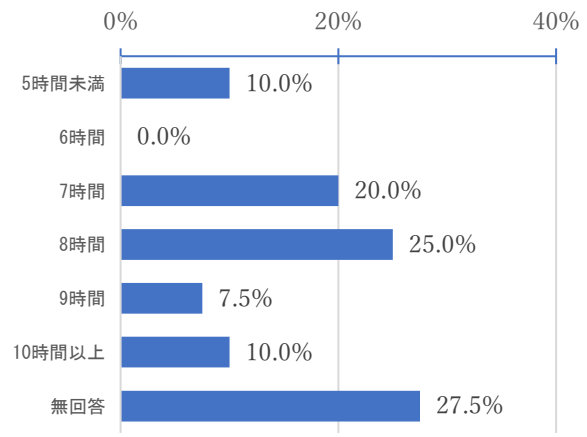
1週当たりの利用日数（希望）



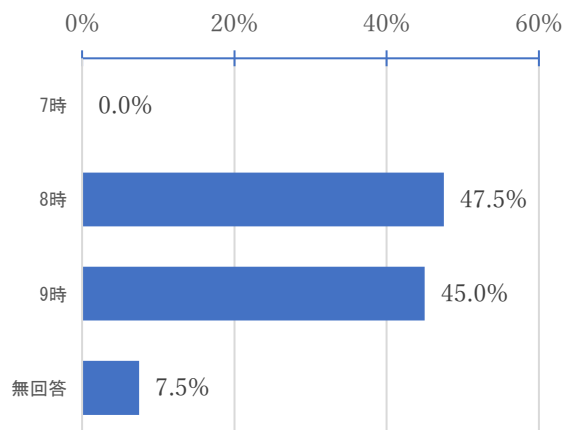
1日当たりの利用時間（現在）
全体（n=40）



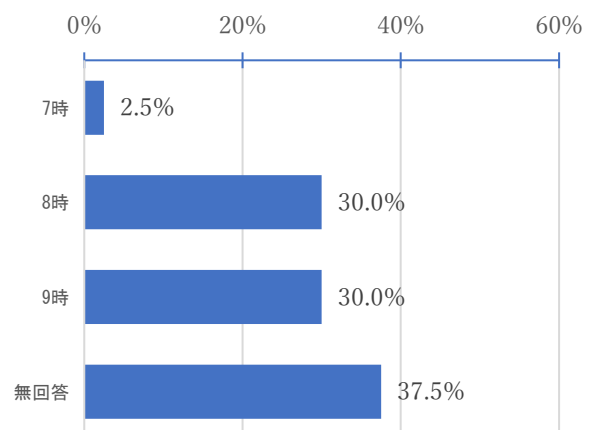
1週当たりの利用時間（希望）
全体（n=40）



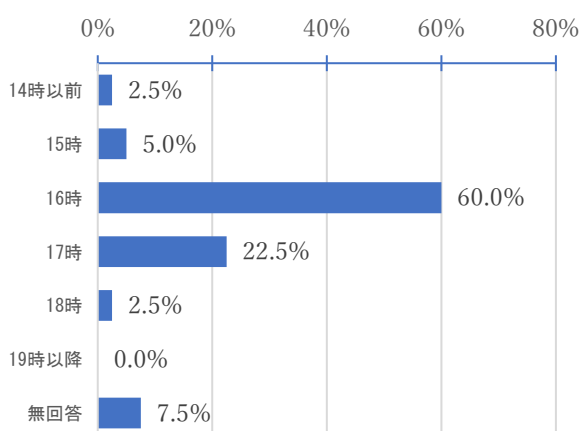
利用開始時刻（現在）
全体（n=40）



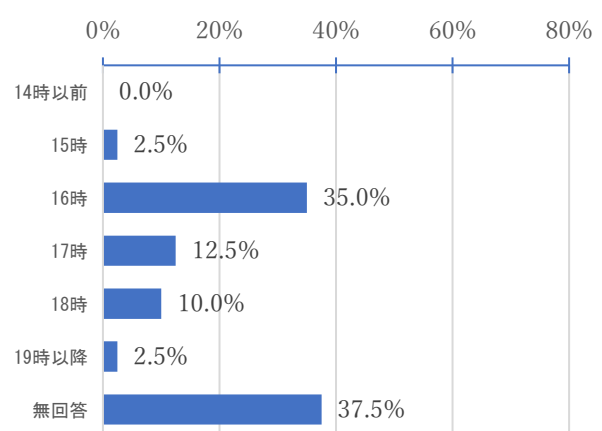
利用開始時刻（希望）
全体（n=40）



利用終了時刻（現在）
全体（n=40）



利用終了時刻（希望）
全体（n=40）

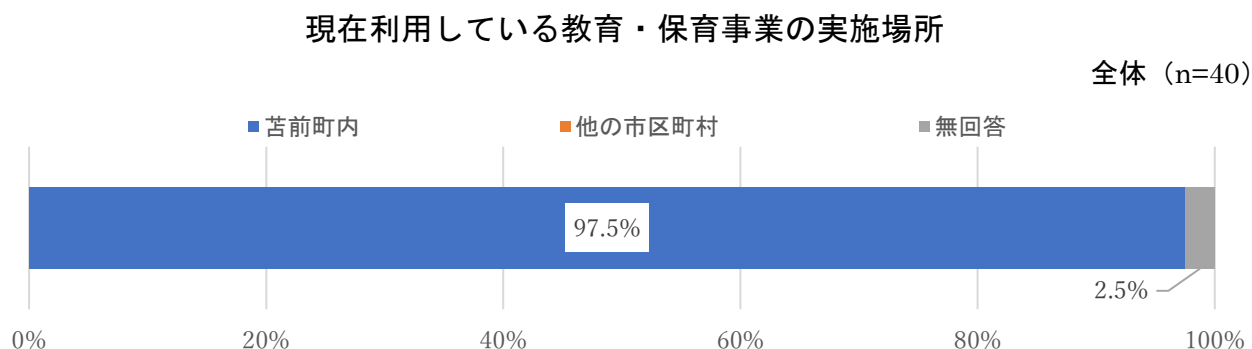


(20) 現在利用している教育・保育事業の実施場所

問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15－3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

現在利用している教育・保育事業の実施場所については、「苫前町内」の割合が97.5%で大多数を占めます。

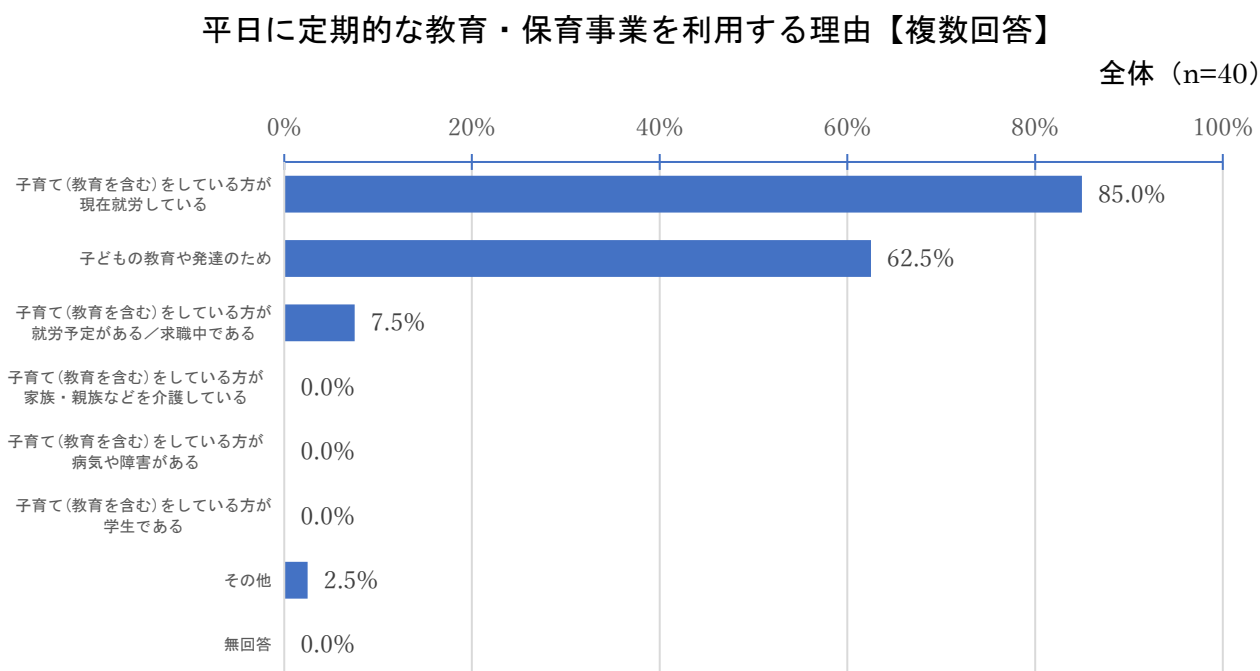


(21) 平日に定期的な教育・保育事業を利用する理由

問15で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15－4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。【複数回答】

平日の定期的な教育・保育事業を利用する理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が85.0%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」（62.5%）と続き、他を大きく引き離します。



(22) 平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由

問15で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問15－5 利用していない理由は何ですか。【複数回答】

平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由については、「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」が5人、「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がある」「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が各1人となっています。

平日の定期的な教育・保育事業を利用しない理由【複数回答】

選択肢	n（人）
（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がある	1
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	1
子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている	5
その他	2
全体	8

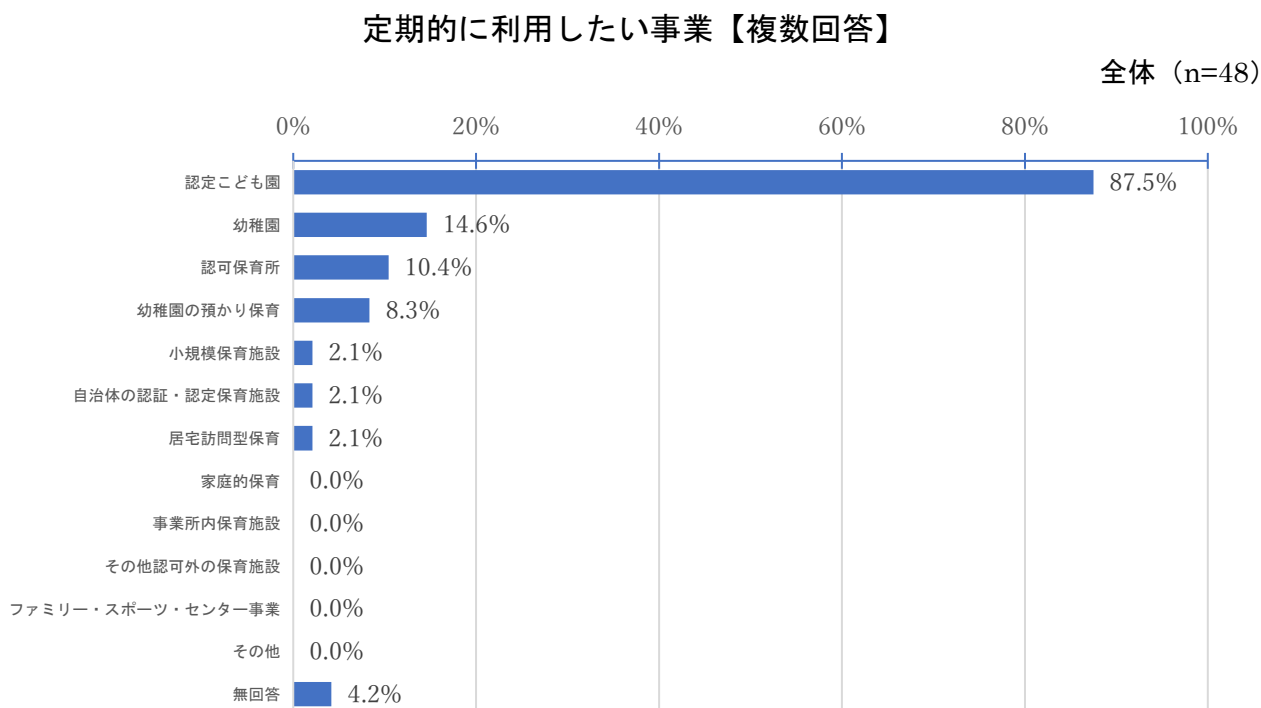
平日の定期的な教育・保育事業の利用を考えている子どもの年齢

選択肢	n（人）
1 歳	1
2 歳	1
3 歳	3
全体	5

(23) 定期的に利用したい事業

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。【複数回答】

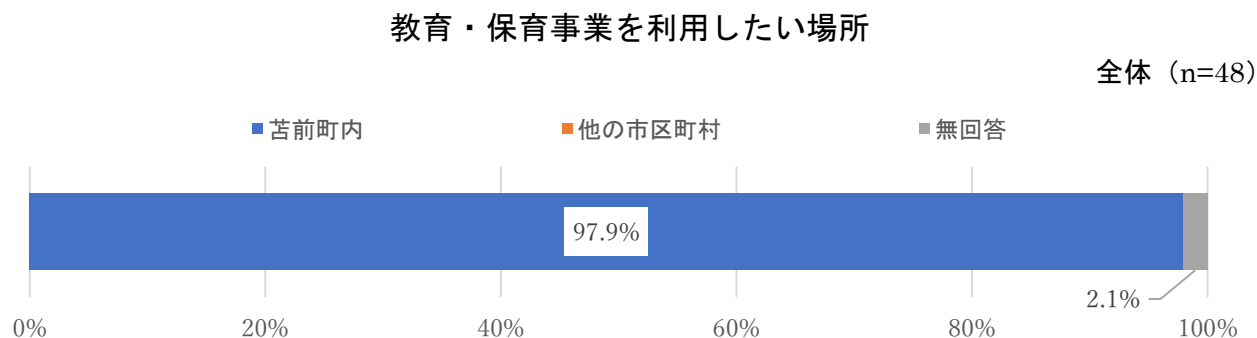
定期的にご利用したい事業については、「認定こども園」の割合が87.5%で最も高く、次いで「幼稚園」（14.6%）が続き、以下「認可保育所」（10.4%）などの順となっています。



(24) 教育・保育事業を利用したい場所

問16－1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

教育・保育事業を利用したい場所については、「苫前町内」の割合が97.9%で大多数を占めます。



(25) 幼稚園の強い利用希望

問16で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつそれ以外にも○をつけた方にうかがいます。

問16－2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

幼稚園の強い利用希望については、「はい」が5人、「いいえ」が2人となっています。

幼稚園の強い利用希望

選択肢	n（人）
はい	5
いいえ	2
全体	7

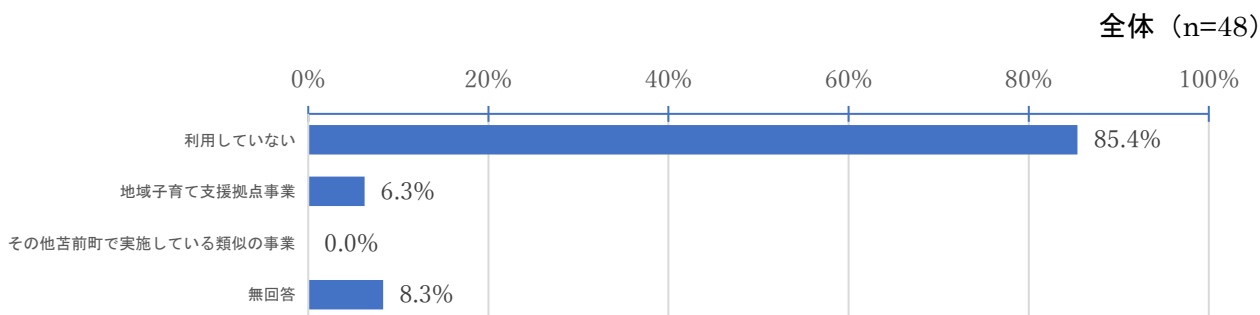
6 地域の子育て支援事業の利用状況について

(26) 利用している地域子育て支援事業

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。【複数回答】

利用している地域子育て支援事業については、「利用していない」の割合が85.4%で、「地域子育て支援拠点事業」（6.3%）が続いています。

利用している地域子育て支援事業【複数回答】



地域子育て支援拠点事業の1週当たりの利用回数

選択肢	n（人）
1回	1
3回	1
5回	1
全体	3

地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用回数

選択肢	n (人)
4 回	1
10 回	1
無回答	1
全体	3

類似事業の1週当たりの利用回数…該当者なし

類似事業の1ヶ月当たりの利用回数…該当者なし

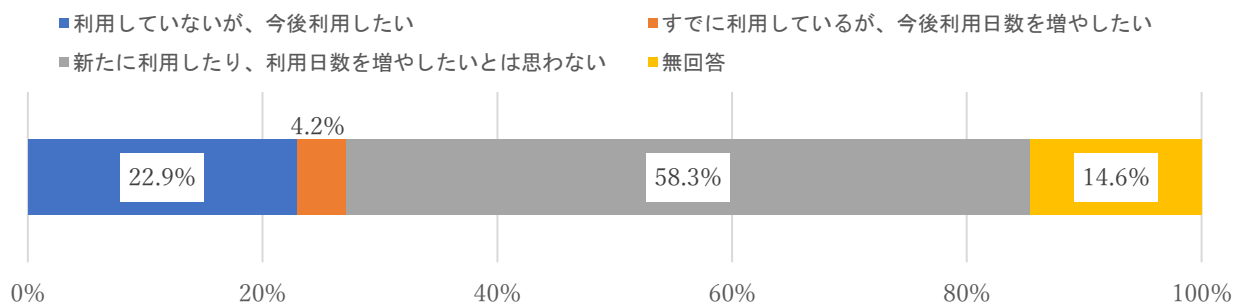
(27) 地域子育て支援事業の利用希望

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

地域子育て支援事業の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が58.3%で最も高く、半数以上を占めます。次いで「利用していないが、今後利用したい」(22.9%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(4.2%)の順となっています。

地域子育て支援事業の利用希望

全体 (n=48)



1週当たりの利用希望回数

選択肢	n (人)
1 回	2
3 回	1
無回答	8
全体	11

1ヶ月当たりの利用希望回数

選択肢	n (人)
1 回	4
2 回	2
3 回	1
無回答	4
全体	11

1 週当たりの利用希望増数

選択肢	n (人)
2 回	1
4 回	1
無回答	0
全体	2

1 ヶ月当たりの利用希望増数

選択肢	n (人)
8 回	1
無回答	1
全体	2

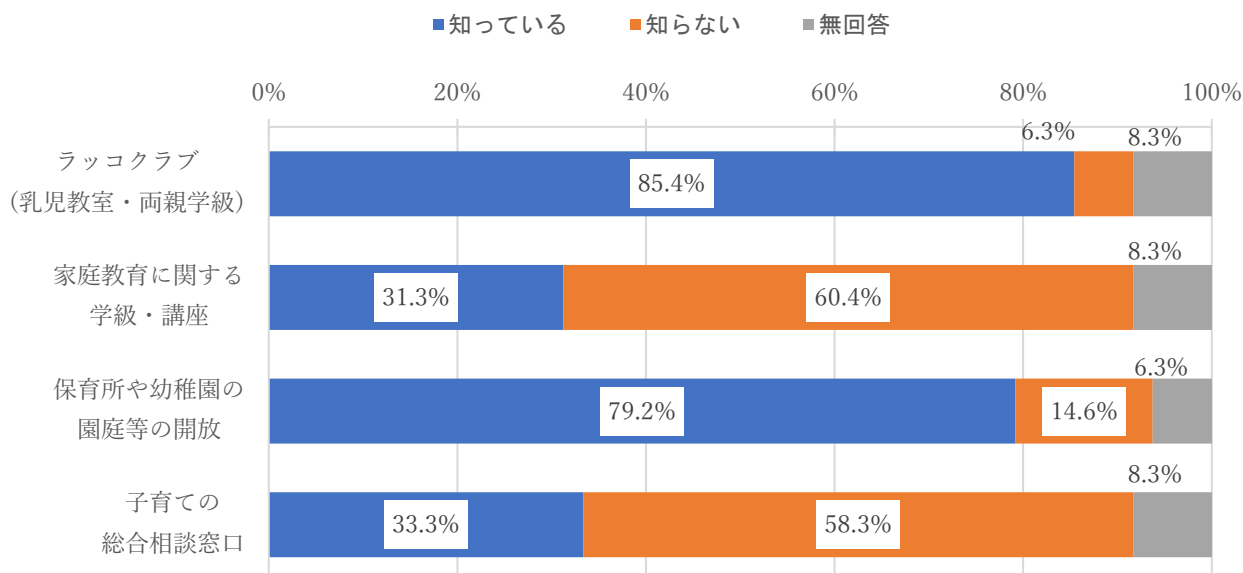
(28) 地域子育て支援事業の認知度や利用経験・利用希望

問19 子育て支援事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

地域子育て支援事業の認知度について「知っている」の割合をみると、「ラッコクラブ（乳児教室・両親学級）」（85.4%）で最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（79.2%）が続き、「子育ての総合相談窓口」（33.3%）、「家庭教育に関する学級・講座」（31.3%）の順となっています。

地域子育て支援事業の認知度や利用経験・利用希望／認知度

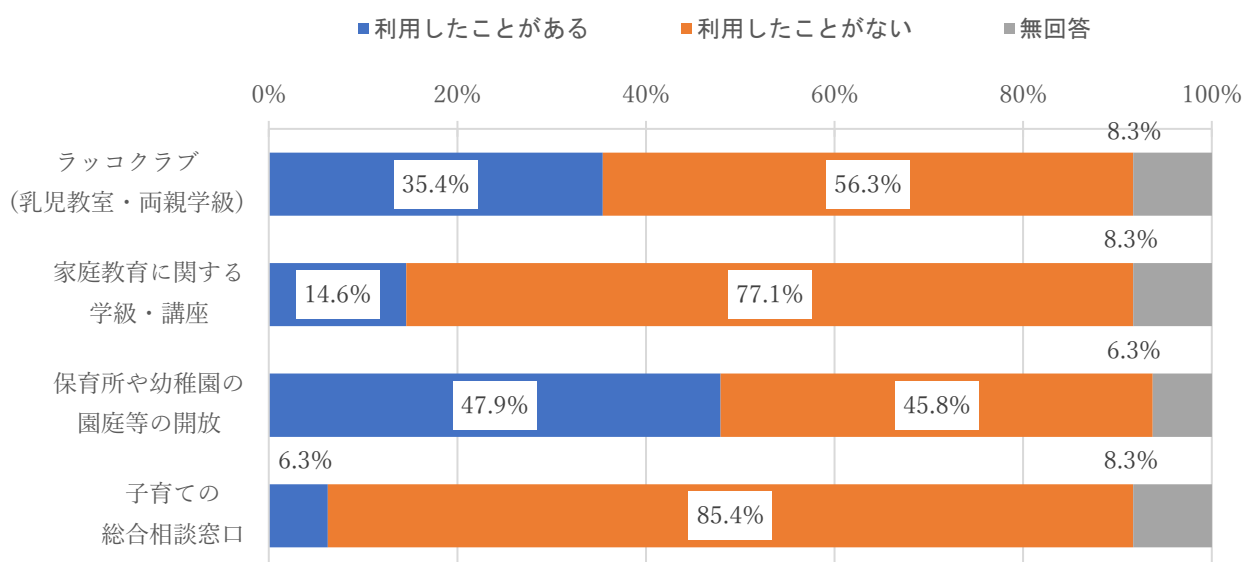
全体（n=48）



地域子育て支援事業の利用経験について「利用したことがある」の割合をみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が47.9%で最も高く、次いで「ラッコクラブ（乳児教室・両親学級）」（35.4%）が続き、以下「家庭教育に関する学級・講座」（14.6%）、「子育ての総合相談窓口」（6.3%）の順となっています。

地域子育て支援事業の認知度や利用経験・利用希望／利用経験

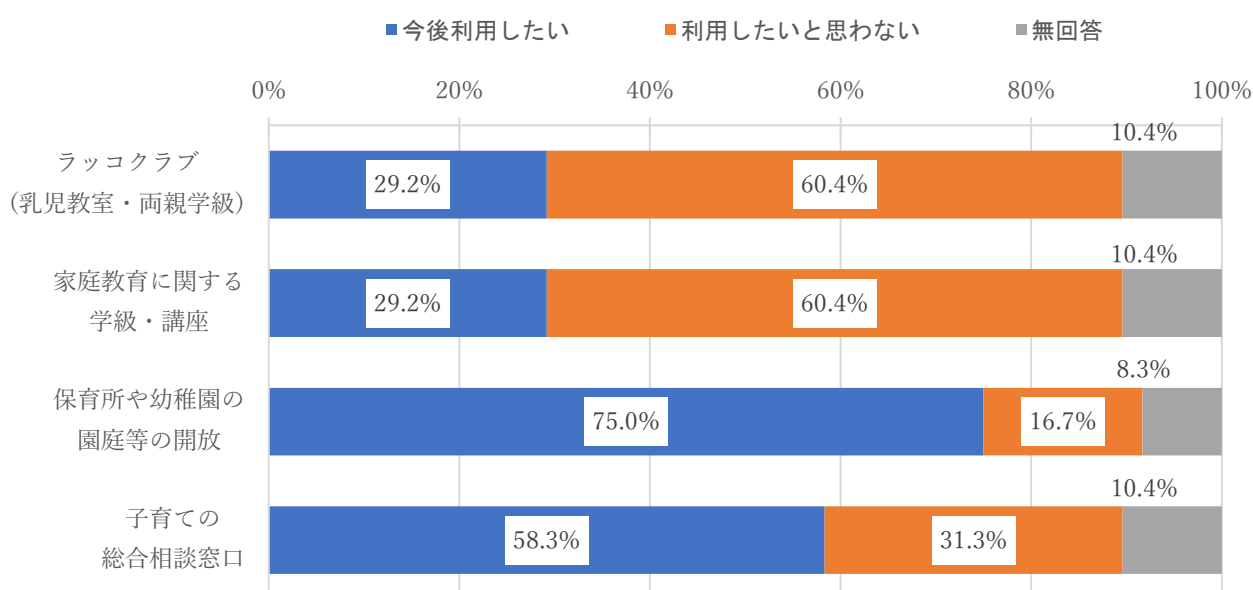
全体（n=48）



地域子育て支援事業の利用希望について「今後利用したい」の割合をみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が75.0%で最も高く、次いで「子育ての総合相談窓口」（58.3%）が続き、以下「ラッコクラブ（乳児教室・両親学級）」「家庭教育に関する学級・講座」（同率29.2%）の順となっています。

地域子育て支援事業の認知度や利用経験・利用希望／利用希望

全体（n=48）



7 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(29) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

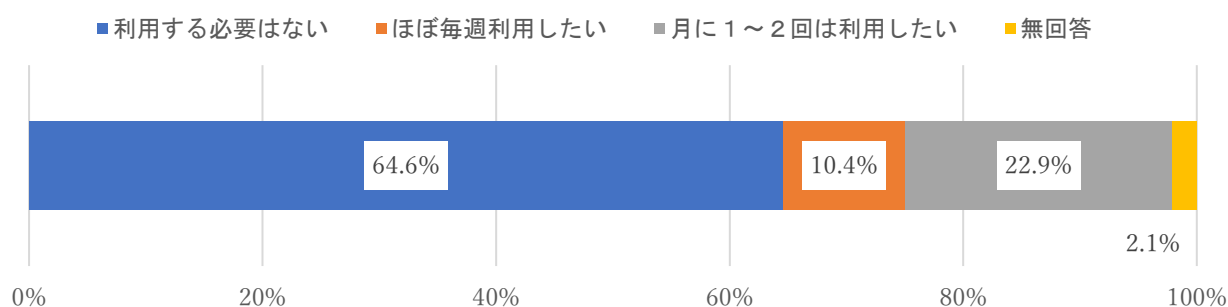
問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

①土曜日

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が64.6%で最も高く、半数以上を占めています。次いで「月に1～2回は利用したい」（22.9%）、「ほぼ毎週利用したい」（10.4%）の順となっています。

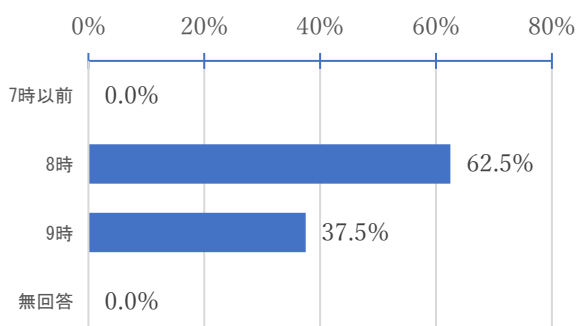
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

全体（n=48）



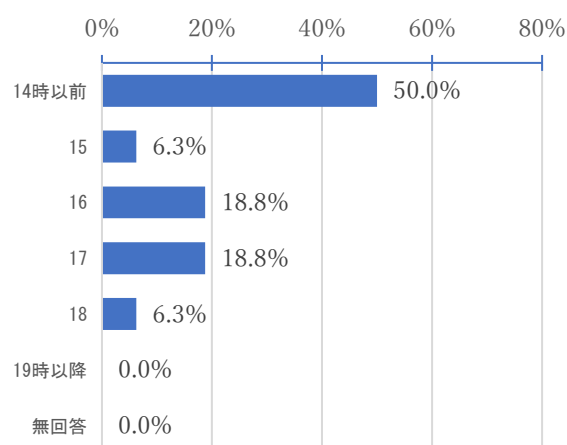
希望する利用開始時刻

全体（n=16）



希望する利用終了時刻

全体（n=16）

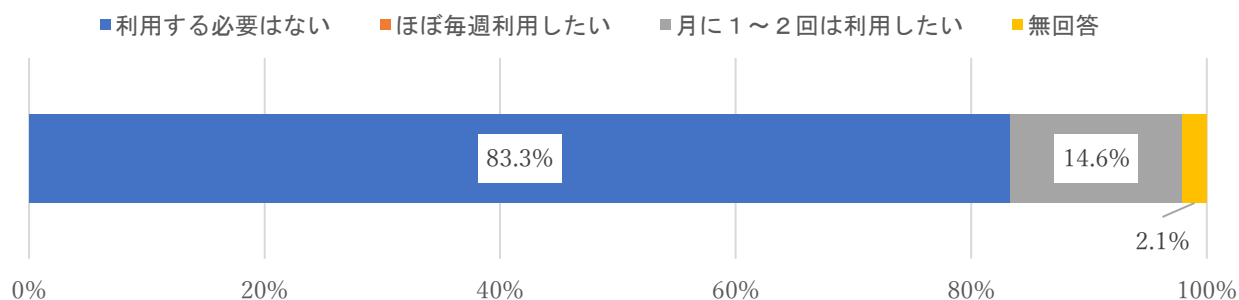


②日曜・祝日

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が83.3%で最も高く、8割以上を占めます。次いで「月に1～2回は利用したい」（14.6%）、「ほぼ毎週利用したい」（2.1%）の順となっています。

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

全体（n=48）



希望する利用開始時刻

選択肢	n（人）
7 時以前	0
8 時	5
9 時	2
無回答	0
全体	0

希望する利用終了時刻

選択肢	n（人）
14 時以前	3
15 時	1
16 時	0
17 時	2
18 時	1
19 時以降	0
無回答	0
全体	7

(30) 土曜日と日曜・祝日にたまに利用したい理由

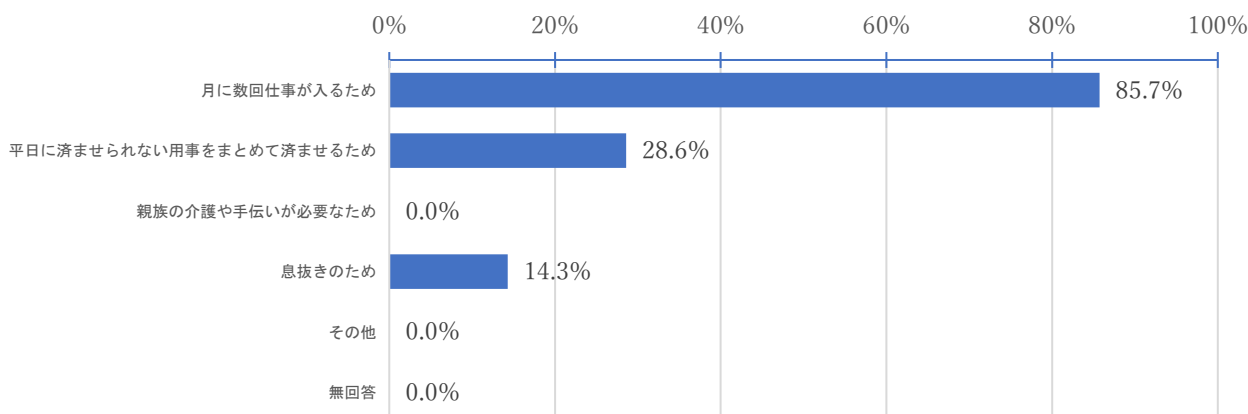
問20で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【複数回答】

土曜日と日曜・祝日にたまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」の割合が85.7%で最も高く、他を大きく引き離しています。

土曜日と日曜・祝日にたまに利用したい理由【複数回答】

全体 (n=14)



(31) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

幼稚園を利用されている方にうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が1人となっています。

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

選択肢	n (人)
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	1
全体	1

希望する利用開始時刻

選択肢	n (人)
無回答	1

希望する利用終了時刻

選択肢	n (人)
無回答	1

(32) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由

問21で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問21－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【複数回答】

長期休暇期間中にたまに利用したい理由については、該当者がいませんでした。

8 子どもが病気の際の対応について

こちらの項目は、平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「利用している」に○をつけた方）にのみうかがいます。

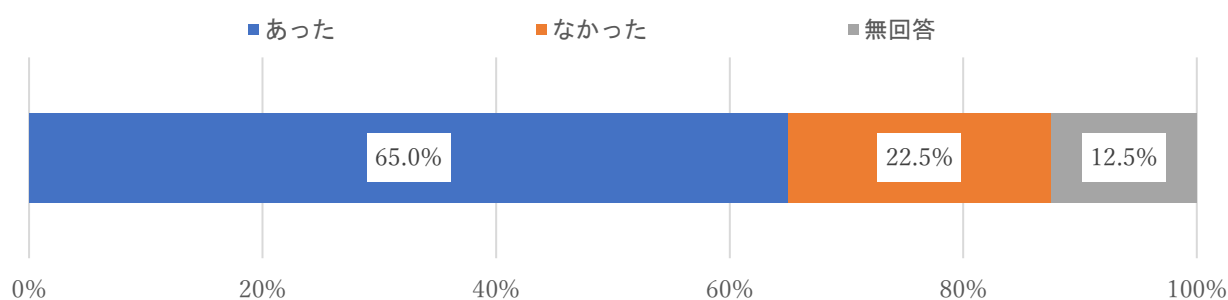
(33) 子どもが病気等で通常の事業が利用できなかった経験

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

子どもが病気等で通常の事業が利用できなかった経験については、「あった」の割合が65.0%で、「なかった」（22.5%）の割合を上回っています。

子どもが病気等で通常の事業が利用できなかった経験

全体（n=40）



(34) 子どもが病気等の際の対処方法

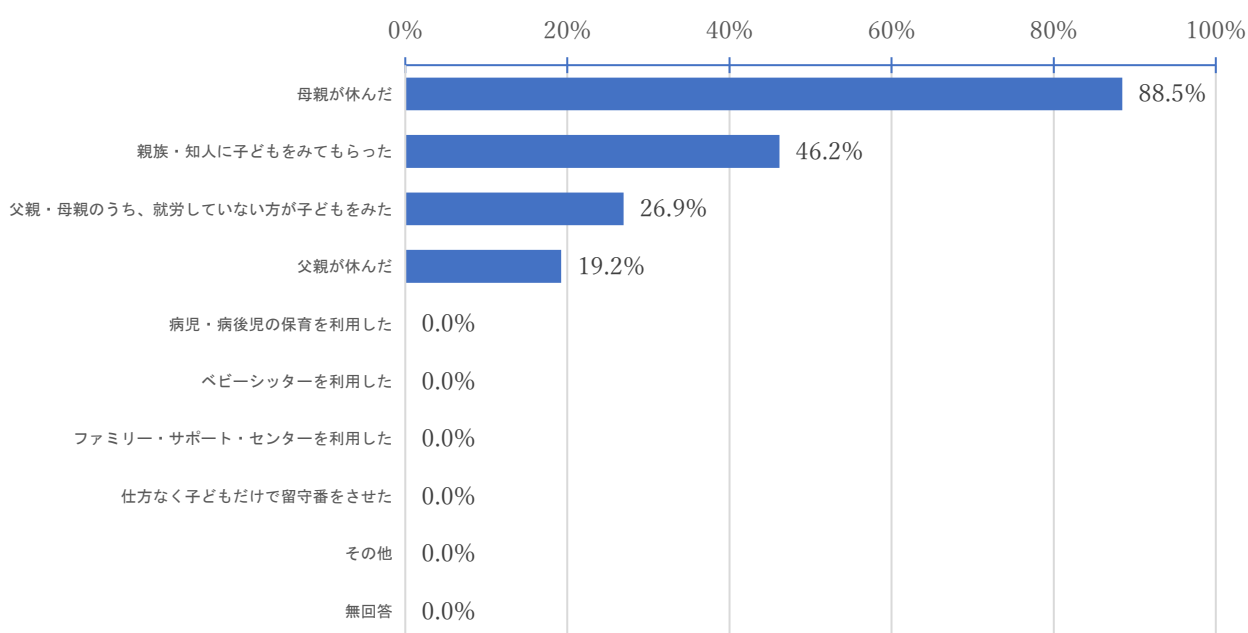
問22で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

問22－1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。【複数回答】

子どもが病気等の際の対処方法については、「母親が休んだ」の割合が88.5%で最も高く、他を大きく引き離しています。次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」(46.2%)、「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」(26.9%)、「父親が休んだ」(19.2%)の順となっています。

子どもが病気等の際の対処方法【複数回答】

全体 (n=26)



子どもが病気等の際の対処日数

上段 (人数)、下段 (割合)

選択肢	全体	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答
父親が休んだ	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
母親が休んだ	23 100.0%	6 26.1%	6 26.1%	2 8.7%	1 4.3%	4 17.4%	4 17.4%
親族・知人に子どもをみてもらった	12 100.0%	9 75.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	7 100.0%	0 0.0%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%

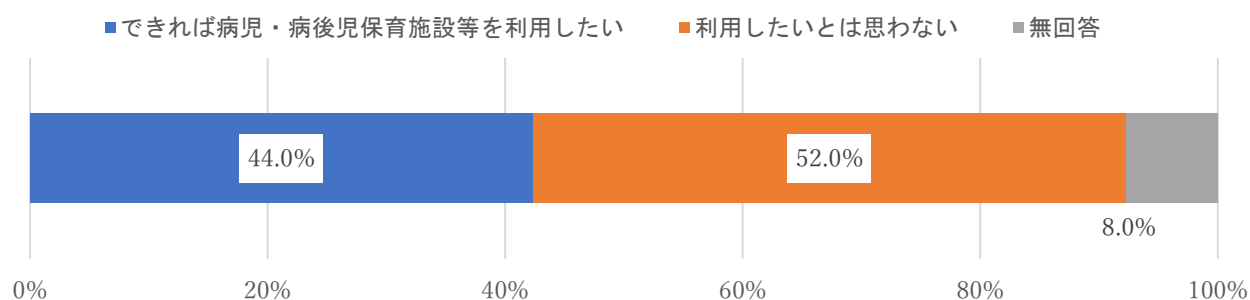
(35) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問22－1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 問22－2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

病児・病後児保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」の割合が52.0%で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」（44.0%）の割合を上回っています。

病児・病後児保育施設等の利用希望

全体（n=25）



病児・病後児保育施設等の1年間の利用希望日数

選択肢	n（人）
1～5 日	6
6～10 日	2
11～15 日	0
16～20 日	1
無回答	2
全体	11

(36) 子どもが病気やけがの際に預けるのに望ましい事業形態

問22-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。
【複数回答】

子どもが病気やけがの際に預けるのに望ましい事業形態については、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が9人、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が5人、「地域住民等が自宅などで保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター事業等）」が2人となっています。

子どもが病気やけがの際に預けるのに望ましい事業形態【複数回答】

選択肢	n（人）
他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	9
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	5
地域住民等が自宅などで保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター事業等)	2
無回答	1
全体	11

(37) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

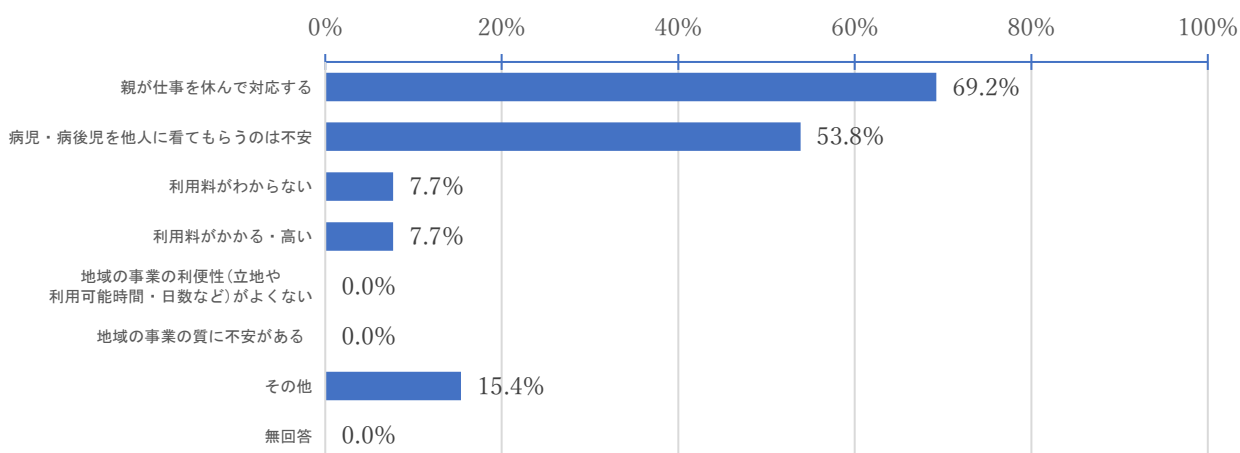
問22-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問22-4 そう思われる理由は何ですか。【複数回答】

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」の割合が69.2%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(53.8%)が続き、以下「利用料がわからない」「利用料がかかる・高い」(同率7.7%)の順となっています。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由【複数回答】

全体（n=13）



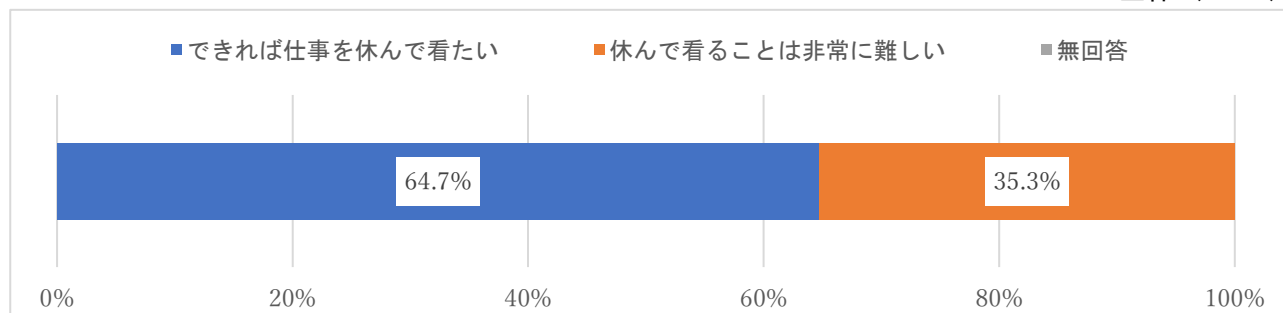
(38) 父母が仕事を休んで看たいと思ったか

問22-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外に○をつけた方にうかがいます。
問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

父母が仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が64.7%、「休んで看ることは非常に難しい」は35.3%となっています。

父母が仕事を休んで看たいと思ったか

全体 (n=17)



父母が仕事を休んで看たかった日数

選択肢	n (人)
1～5 日	6
6～10 日	2
11～15 日	0
16～20 日	1
無回答	2
全体	11

(39) 仕事を休んで看ることが難しい理由

問22-5で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
問22-6 そう思われる理由は何ですか。【複数回答】

仕事を休んで看ることが難しい理由については、「自営業なので休めない」が3人、「休暇日数が足りないので休めない」が2人となっています。

仕事を休んで看ることが難しい理由【複数回答】

選択肢	n (人)
自営業なので休めない	3
休暇日数が足りないので休めない	2
その他	1
全体	6

9 不定期の教育・保育事業等の利用について

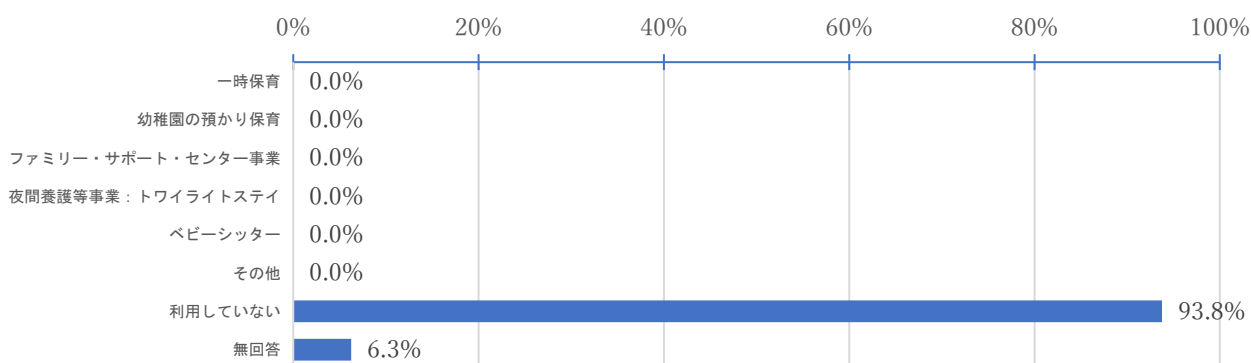
(40) 不定期に利用している事業

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。【複数回答】

不定期に利用している事業については、「利用していない」の割合は93.8%となっています。

不定期に利用している事業【複数回答】

全体 (n=48)



(41) 不定期的な教育・保育事業を利用していない理由

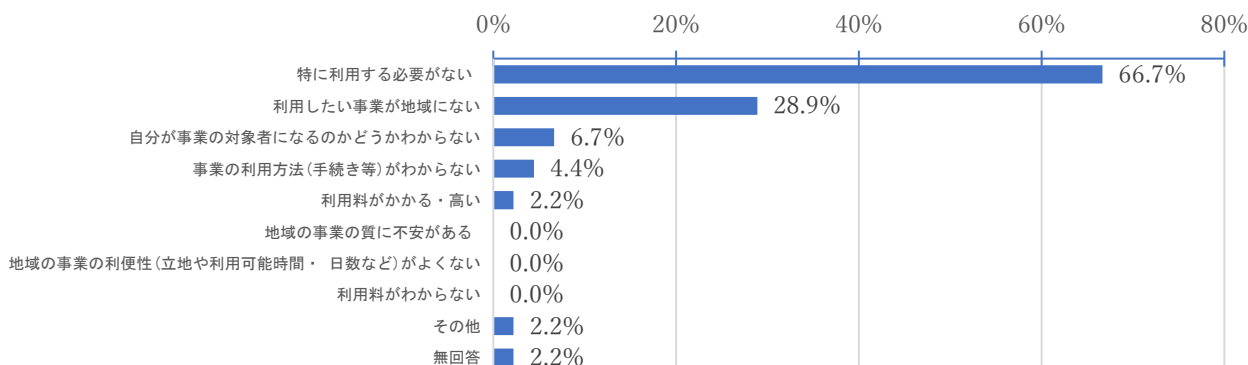
問23で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。【複数回答】

不定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がない」の割合が66.7%で最も高く、他を大きく引き離します。次いで「利用したい事業が地域にない」(28.9%)が続く、以下「自分が事業の対象者になるのかわからない」(6.7%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(4.4%)などの順となっています。

不定期的な教育・保育事業を利用していない理由【複数回答】

全体 (n=45)



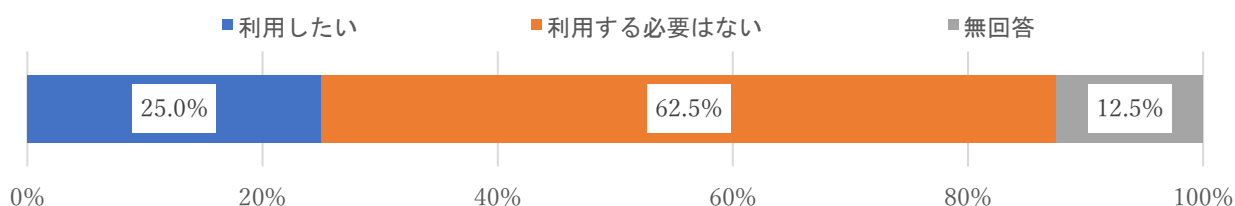
(42) 不定期な教育・保育事業の利用希望

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

不定期な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が62.5%で、「利用したい」(25.0%)の割合を上回ります。

不定期な教育・保育事業の利用希望

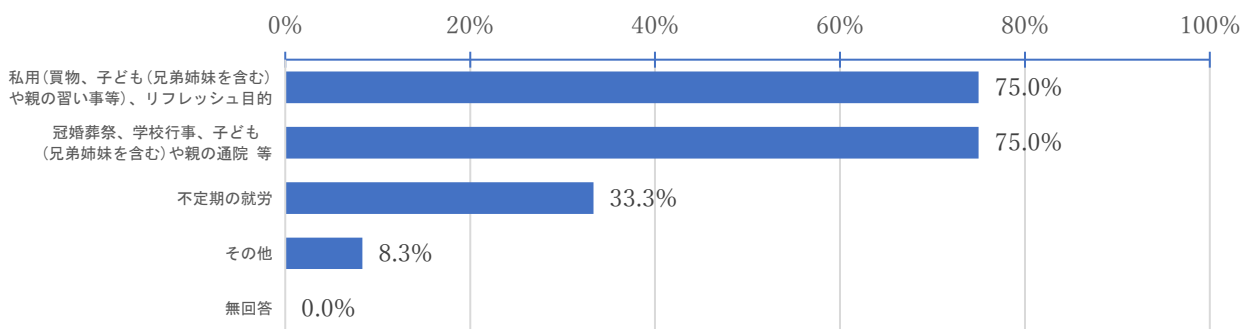
全体 (n=45)



不定期な教育・保育事業の利用目的については、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が同率75.0%で最も高く、次いで「不定期の就労」(33.3%)の順となっています。

不定期な教育・保育事業の利用目的【複数回答】

全体 (n=12)



不定期な教育・保育事業で必要な年間利用日数

上段(日数)、下段(割合)

選択肢	全体	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答
私用、リフレッシュ目的	9 100.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	9 100.0%	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不定期の就労	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

(43) 私用等で預けるのに望ましい事業形態

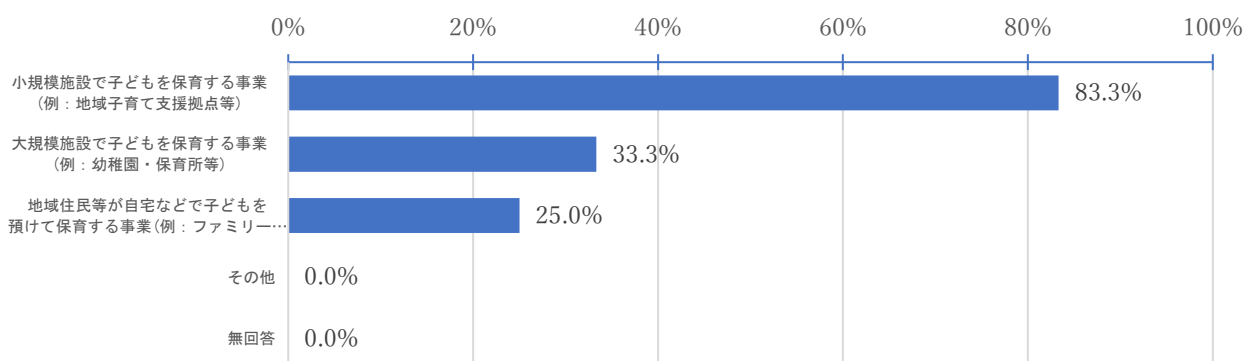
問24で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。【複数回答】

私用等で預けるのに望ましい事業形態については、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」（83.3%）が最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」（33.3%）、「地域住民等が自宅などで子どもを預けて保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター事業等）」（25.0%）の順となっています。

私用等で預けるのに望ましい事業形態【複数回答】

全体（n=12）



(44) 短期入所生活援助事業の利用希望

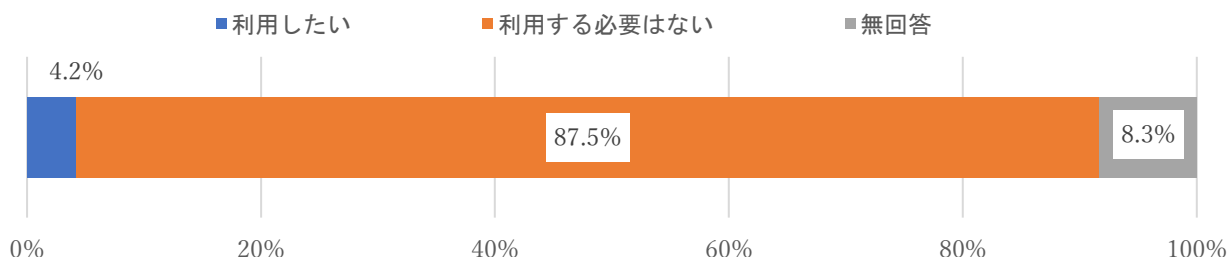
問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

短期入所生活援助事業の利用希望は、「利用する必要はない」が87.5%で「利用した」（4.2%）の割合を大きく上回っています。

短期入所生活援助事業の利用希望

全体（n=48）



短期入所生活援助事業の年間宿泊日数

上段（日数）、下段（割合）

選択肢	全体	1～5 日	6～10 日	11～ 15 日	16～ 20 日	21 日 以上	無回答
冠婚葬祭	9 100.0 %	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保護者や家族の育児疲れ・不安	9 100.0 %	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保護者や家族の病気	4 100.0 %	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
その他	1 100.0 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0 %	0 0.0%	0 0.0%

10 5歳以上の子どもの放課後の過ごし方について

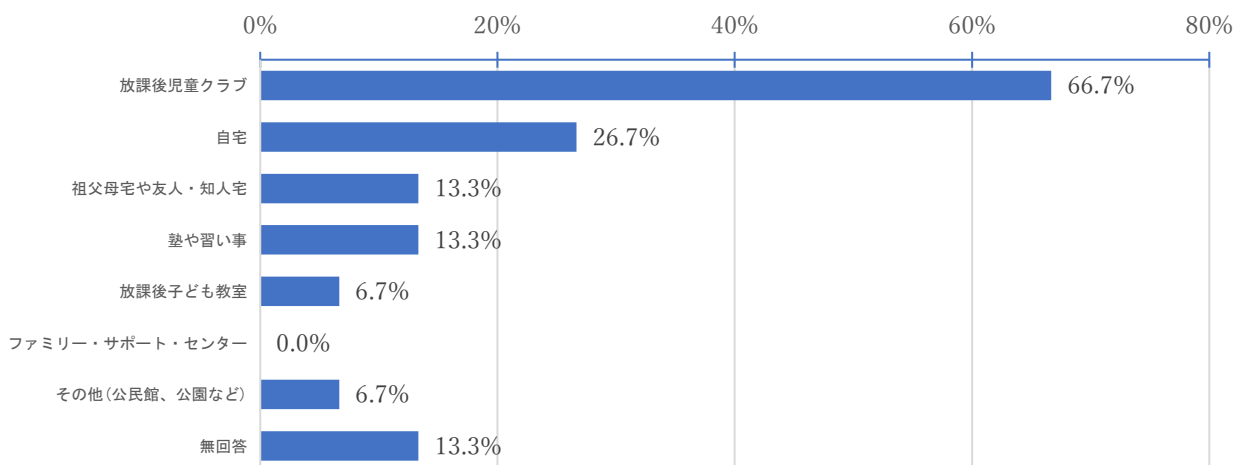
（45）小学校1～3年生の間の放課後の利用希望場所

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

小学校1～3年生の間の放課後の利用希望場所については、「放課後児童クラブ」の割合が66.7%で最も高く、次いで「自宅」（26.7%）が続き、以下「祖父母宅や友人・知人宅」「塾や習い事」（同率13.3%）などの順となっています。

小学校1～3年生の間の放課後の利用希望場所【複数回答】

全体（n=15）



1 週間の利用日数

上段（人数）、下段（割合）

選択肢	全体	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日以上	無回答
自宅	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
祖父母宅や友人・知人宅	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
塾や習い事	2 100.0%	0 0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
放課後子ども教室	1 100.0%	1 100.0%	0 0%	0 0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
放課後児童クラブ	10 100.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	7 70.0%	0 0.0%
その他（公民館、公園など）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

放課後児童クラブの利用終了時刻

選択肢	n（人）
放課後～16 時	2
17 時	3
18 時	4
無回答	1
全体	10

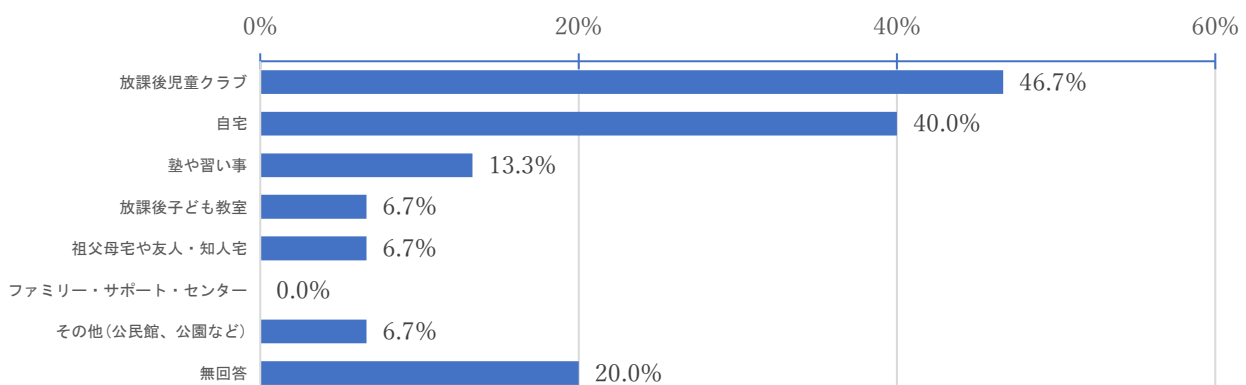
（46） 小学校 4 ～ 6 年生の間の放課後の利用希望場所

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

小学校4～6年生の間の放課後の利用希望場所については、「放課後児童クラブ」の割合が46.7%で最も高く、次いで「自宅」（40.0%）が続き、以下「塾や習い事」（13.3%）、「放課後子ども教室」「祖父母宅や友人・知人宅」（同率6.7%）の順となっています。

小学校 4 ～ 6 年生の間の放課後の利用希望場所【複数回答】

全体（n=15）



1 週間の利用日数

上段（人数）、下段（割合）

選択肢	全体	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日以上	無回答
自宅	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%
祖父母宅や友人・知人宅	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
塾や習い事	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
放課後子ども教室	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
放課後児童クラブ	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%
その他（公民館、公園など）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

放課後児童クラブの利用終了時刻

選択肢	n（人）
放課後～16 時	3
17 時	3
18 時	1
無回答	0
全体	7

(47) 土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問26または問27で「放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

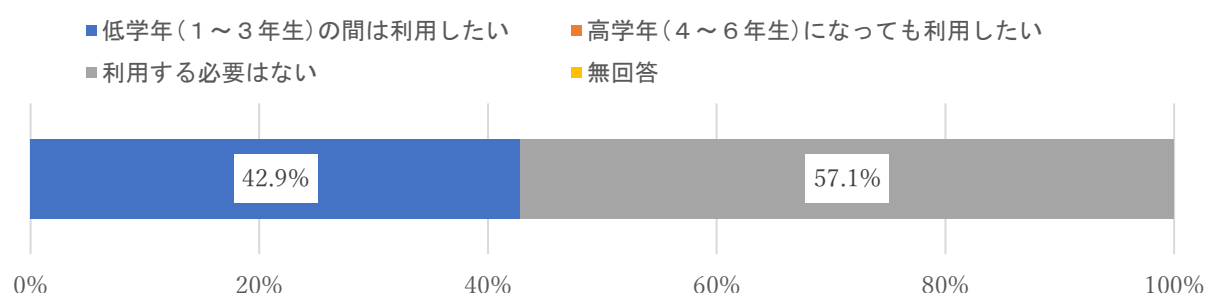
問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が42.9%、「利用する必要はない」が57.1%となっています。

土曜日の放課後児童クラブの利用希望

全体（n=14）



希望する利用開始時刻

選択肢	n（人）
8 時	1
9 時	4
無回答	1
全体	6

希望する利用終了時刻

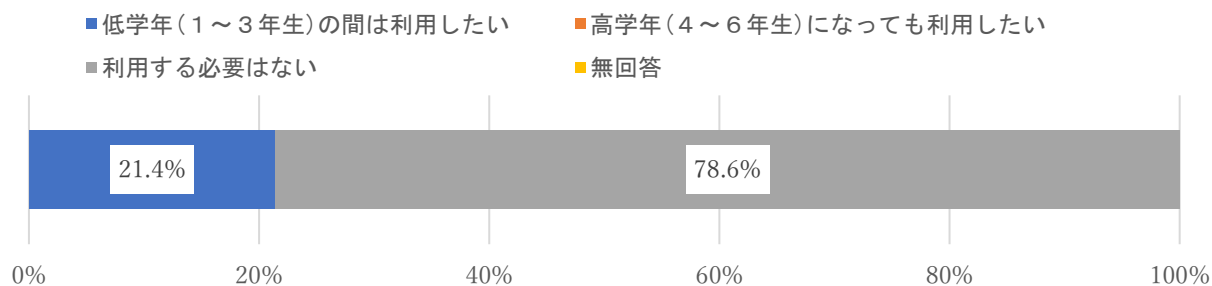
選択肢	n（人）
12 時	2
16 時	1
18 時	2
無回答	1
全体	6

②日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.4%、「利用する必要はない」が78.6%となっています。

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

全体（n=14）



希望する利用開始時刻

選択肢	n（人）
8 時	1
9 時	1
無回答	1
全体	3

希望する利用終了時刻

選択肢	n（人）
12 時	1
18 時	1
無回答	1
全体	3

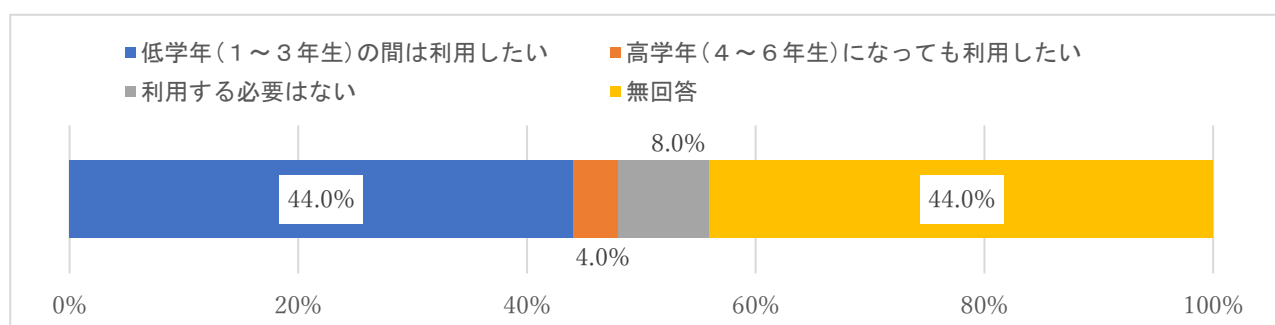
(48) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が44.0%、次いで「利用する必要はない」（8.0%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（4.0%）の順となっています。

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

全体（n=25）



希望する利用開始時刻

選択肢	n（人）
8 時	4
9 時	5
無回答	3
全体	12

希望する利用終了時刻

選択肢	n（人）
12 時	3
16 時	2
17 時	2
18 時	2
無回答	3
全体	12

11 職場の両立支援制度について

(49) 父母の育児休業の取得状況

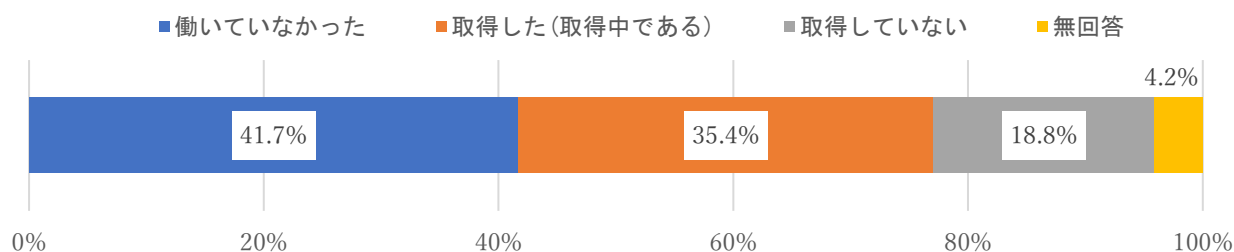
問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

①母親

母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」の割合が41.7%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」（35.4%）、「取得していない」（18.8%）の順となっています。

母親の育児休業の取得状況

全体（n=48）



母親が育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が3人で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」（2人）が続く。以下「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（各1人）が続いています。

母親が育児休業を取得していない理由【複数回答】

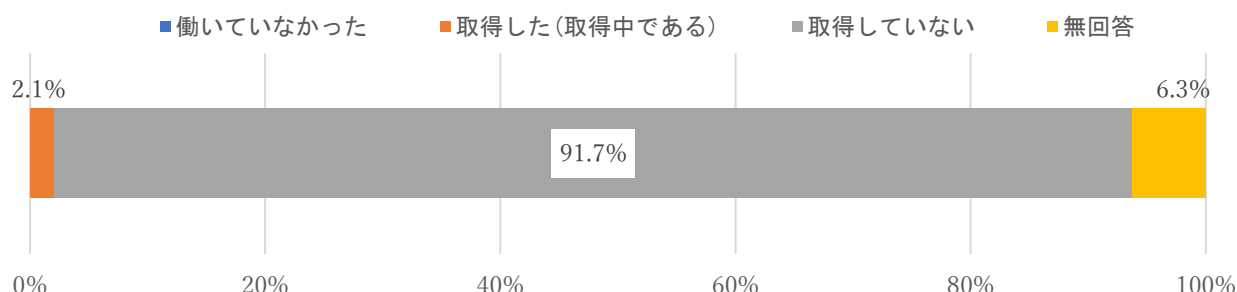
選択肢	n（人）
子育てや家事に専念するため退職した	3
仕事が忙しかった	2
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	1
収入減となり、経済的に苦しくなる	1
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	1
その他	2
全体	9

②父親

父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」の割合が91.7%で最も高く、9割以上を占めます。

父親の育児休業の取得状況

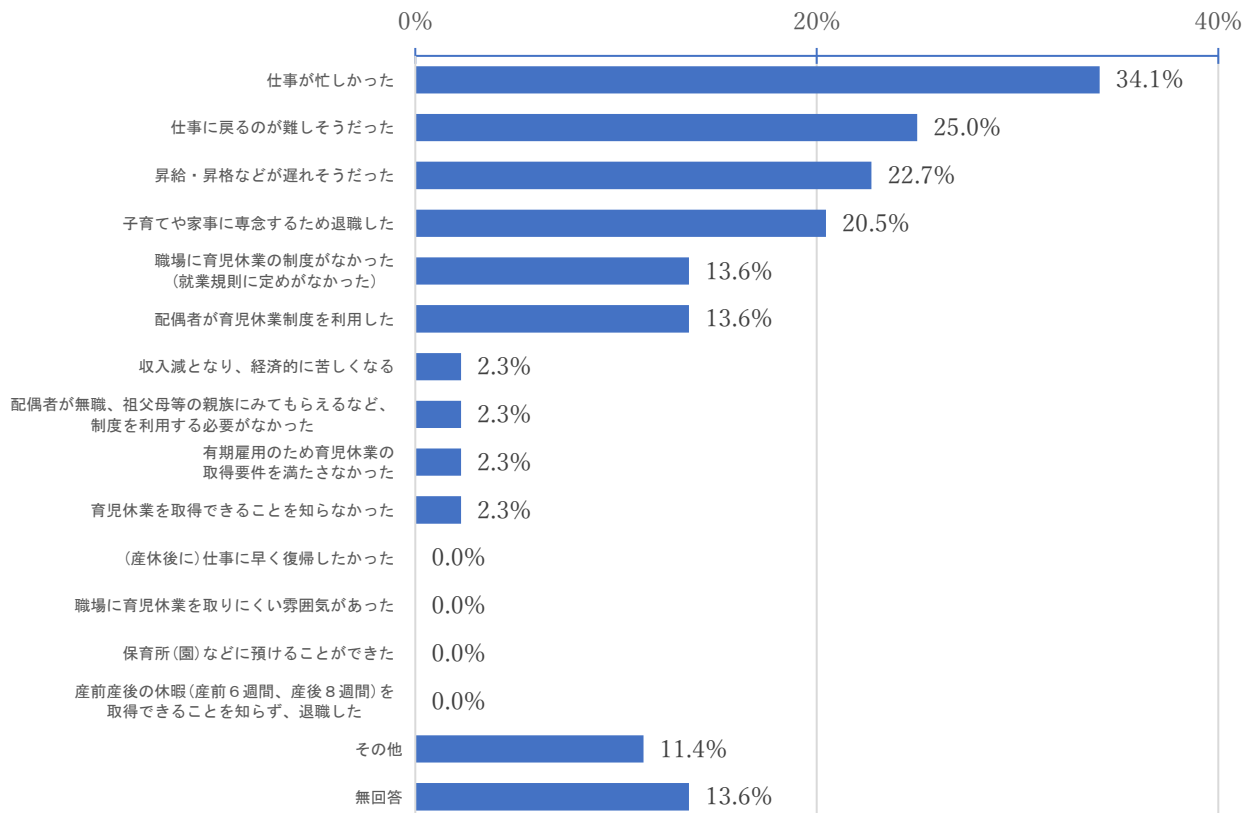
全体 (n=48)



父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」の割合が34.1%で最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」(25.0%)が続き、以下「昇給・昇格などが遅れそうだった」(22.7%)、「子育てや家事に専念するため退職した」(20.5%)などの順となっています。

父親が育児休業を取得していない理由【複数回答】

全体 (n=44)



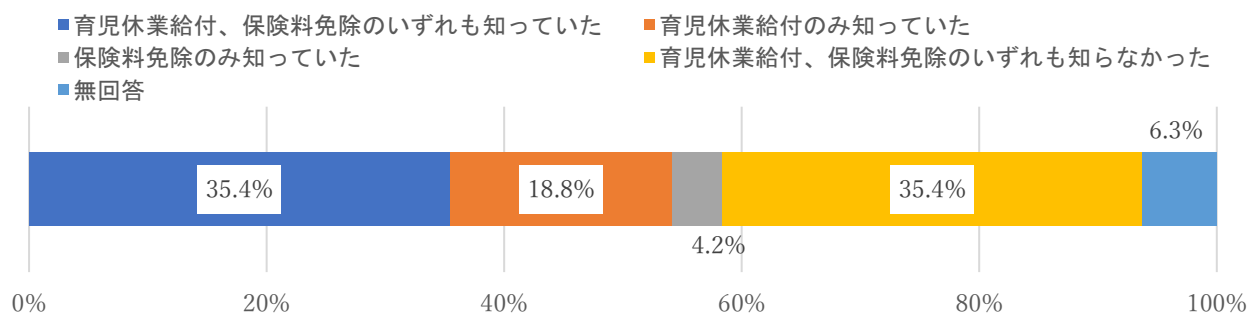
(50) 育児休業給付及び保険料免除の仕組みの認知度

問30－1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。

育児休業給付及び保険料免除の仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が同率35.4%で高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」（18.8%）、「保険料免除のみ知っていた」（4.2%）の順となっています。

育児休業給付及び保険料免除の仕組みの認知度

全体（n=48）



(51) 育児休業取得後の職場復帰状況

問30で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

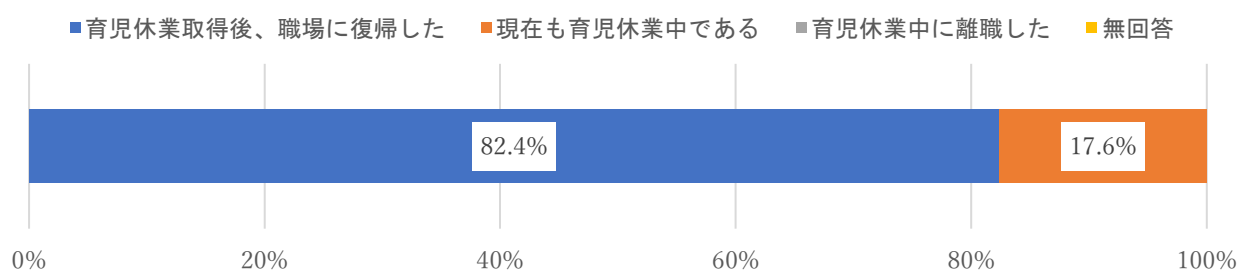
問30－2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親

母親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が82.4%で最も高く、8割以上を占めます。次いで「現在も育児休業中である」（17.6%）が続いています。

母親の育児休業取得後の職場復帰状況

全体（n=17）



②父親

父親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が1人となっています。

父親の育児休業取得後の職場復帰状況

選択肢	n（人）
育児休業取得後、職場に復帰した	1
全体	1

(52) 職場に復帰した時期

問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

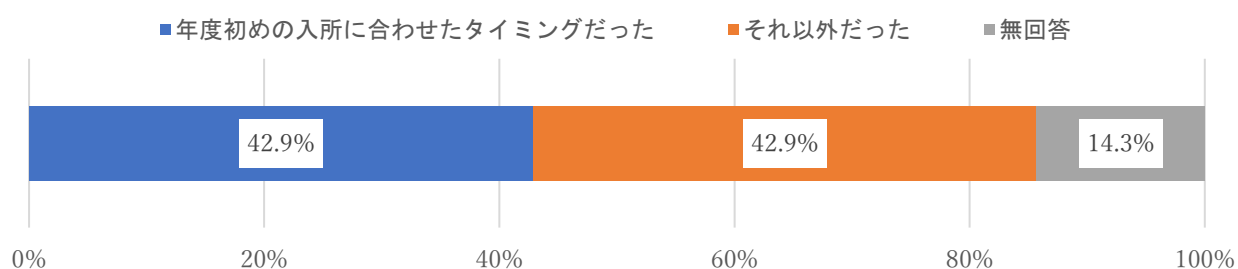
問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

①母親

母親の職場に復帰した時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と「それ以外だった」の割合が同率42.9%となっています。

母親の職場に復帰した時期

全体 (n=17)



②父親

父親の職場に復帰した時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が1人となっています。

父親の職場に復帰した時期

選択肢	n (人)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1
全体	1

(53) 職場復帰したときの子どもの年齢

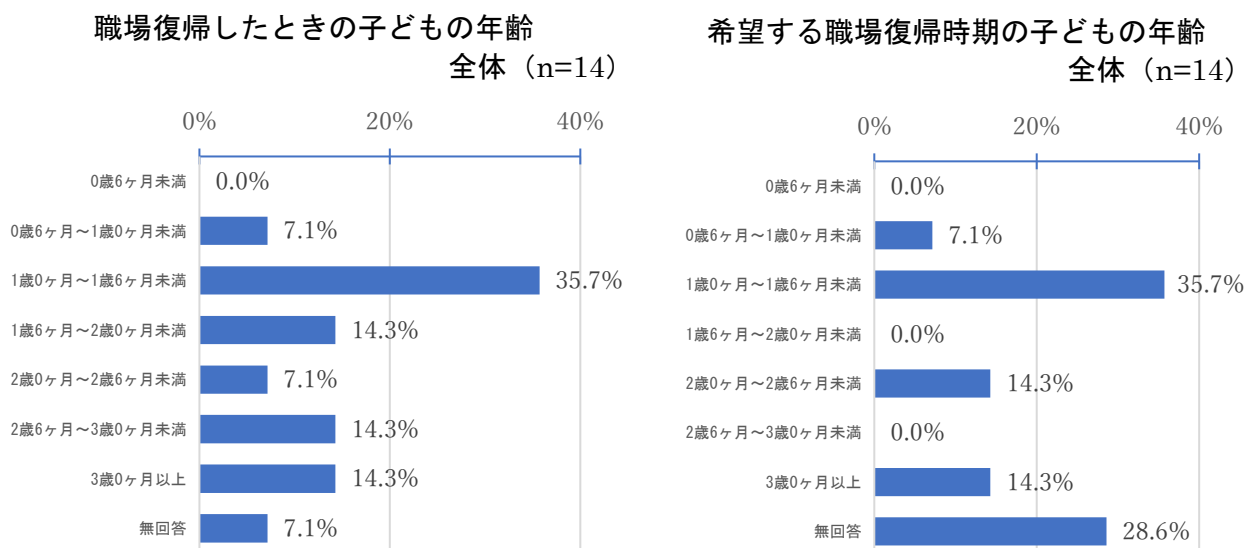
問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

①母親

母親が職場復帰したときの子どもの年齢については、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が5人、「1歳6ヶ月～2歳0ヶ月未満」「2歳6ヶ月～3歳0ヶ月未満」「3歳0ヶ月未満」がそれぞれ2人などとなっています。

希望する職場復帰時期の子どもの年齢については、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が5人、「3歳0ヶ月以上」「2歳0ヶ月～2歳6ヶ月未満」がそれぞれ2人などとなっています。



②父親

父親が職場復帰したときの子どもの年齢については、「0歳6ヶ月～1歳0ヶ月未満」が1人となっています。

希望する職場復帰時期の子どもの年齢については、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が1人となっています。

選択肢	n(人)
0歳6ヶ月未満	0
0歳6ヶ月～1歳0ヶ月未満	1
1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満	0
全体	1

選択肢	n(人)
0歳6ヶ月未満	0
0歳6ヶ月～1歳0ヶ月未満	0
1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満	1
全体	1

(54) 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望

問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

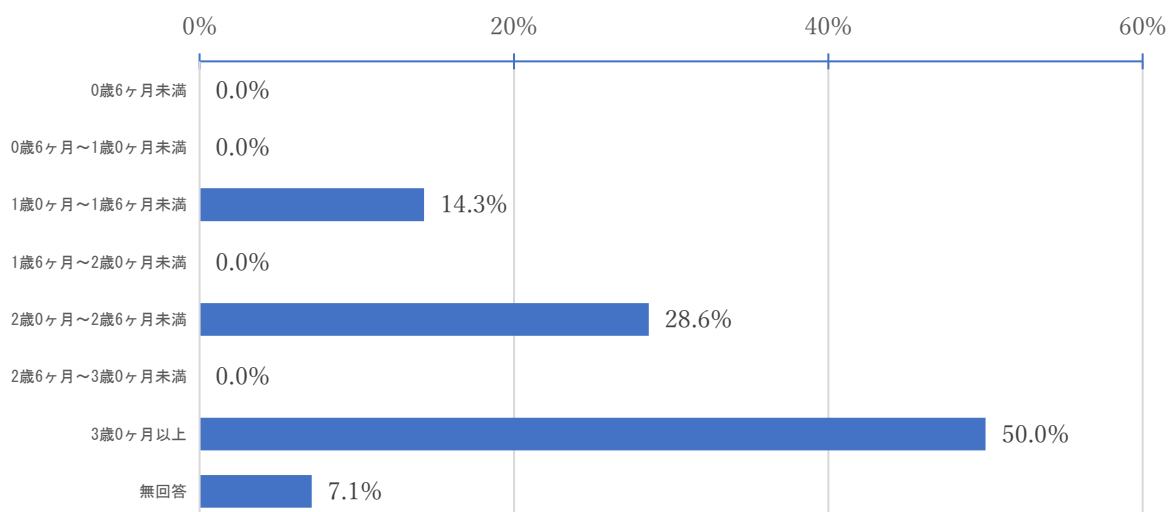
問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

①母親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の母親の希望については、「2歳0ヶ月以上」の割合が50%と最も高く、次いで「2歳0ヶ月～2歳6ヶ月未満」(28.6%)、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」(14.3%)と続いています。

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の母親の希望

全体 (n=14)



②父親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の父親の希望については、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が1人となっています。

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の父親の希望

選択肢	n (人)
1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満	1
全体	1

(55) 希望の時期に復帰しなかった理由

問30－4で実際の復帰と希望が事なる方にうかがいます。

問30－6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

《希望より早く復帰した方》

①母親

母親が希望の時期より早く復帰した理由については、「希望する保育所に入るため」「配偶者や家族の希望があったため」「経済的な理由で早く復帰する必要がある」がそれぞれ2人、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が1人となっています。

母親が希望より早く復帰した理由

選択肢	n (人)
希望する保育所に入るため	2
配偶者や家族の希望があったため	2
経済的な理由で早く復帰する必要がある	2
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1
その他	1
全体	5

②父親

父親が希望の時期より早く復帰した理由については、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が1人となっています。

父親が希望より早く復帰した理由

選択肢	n (人)
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1
全体	1

《希望より遅く復帰した方》

①母親

母親が希望の時期より遅く復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」「子どもを見てくれる人がいなかったため」がそれぞれ1人となっています。

母親が希望より遅く復帰した理由

選択肢	n (人)
希望する保育所に入れなかったため	1
子どもを見てくれる人がいなかったため	1
その他	2
全体	4

②父親

父親が希望の時期より遅く復帰した理由については、該当者がいませんでした。

(56) 短時間勤務制度利用の有無

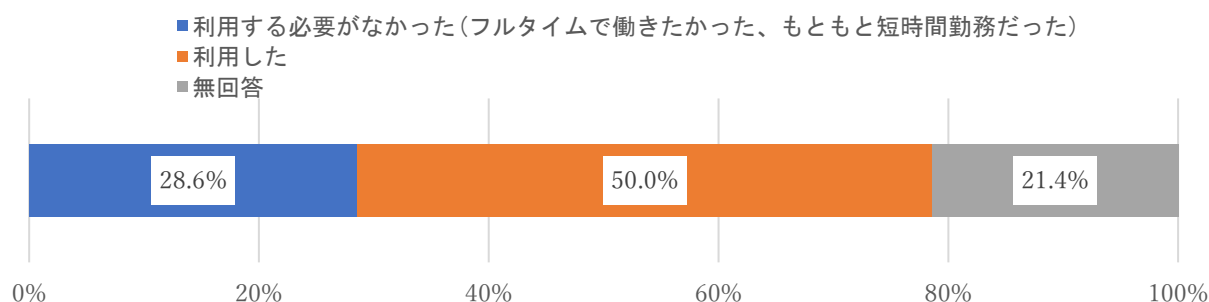
問30－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。
問30－7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

①母親

母親の短時間勤務制度利用の有無については、「利用した」の割合が50.0%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が28.6%となっています。

母親の短時間勤務制度利用の有無

全体（n=14）



②父親

父親の短時間勤務制度利用の有無については、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が1人となっています。

父親の短時間勤務制度利用の有無

選択肢	n（人）
利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1
全体	1

(57) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問30－7で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問30－8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

【複数回答】

①母親

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、該当者がいませんでした。

②父親

父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、該当者がいませんでした。

(58) お子さんを必ず預けられる事業がある場合の育児休業取得について

問30－2で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30－9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

①母親

お子さんを必ず預けられる事業がある場合の母親の育児休業取得については、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が2人となっています。

お子さんを必ず預けられる事業がある場合の母親の育児休業取得について

選択肢	n (人)
1歳になるまで育児休業を取得したい	2
1歳になる前に復帰したい	0
無回答	1
全体	3

②父親

お子さんを必ず預けられる事業がある場合の父親の育児休業取得については、該当者がいませんでした。

12 子育てについて

(59) 苫前町の子育ての満足度

問31 苫前町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

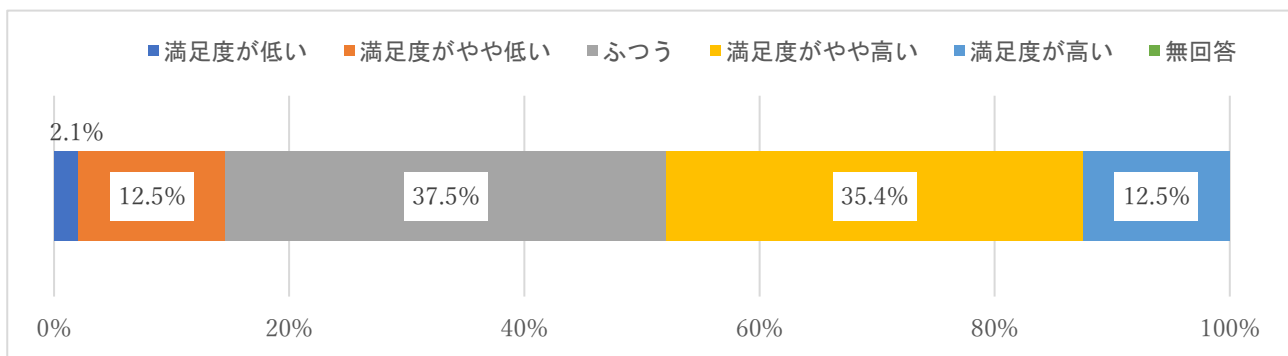
苫前町の子育ての満足度については、「ふつう」の割合が37.5%で最も高く、以下「満足度がやや高い」(35.4%)、「満足度が高い」「満足度がやや低い」(同率12.5%)、「満足度が低い」(2.1%)の順となっています。

「満足度が高い」と「満足度がやや高い」を合わせた“満足度が高い”の割合は47.9%となっています。

一方、「満足度が低い」と「満足度がやや低い」を合わせた“満足度が低い”の割合は14.6%にとどまります。

苫前町の子育ての満足度

全体 (n=48)



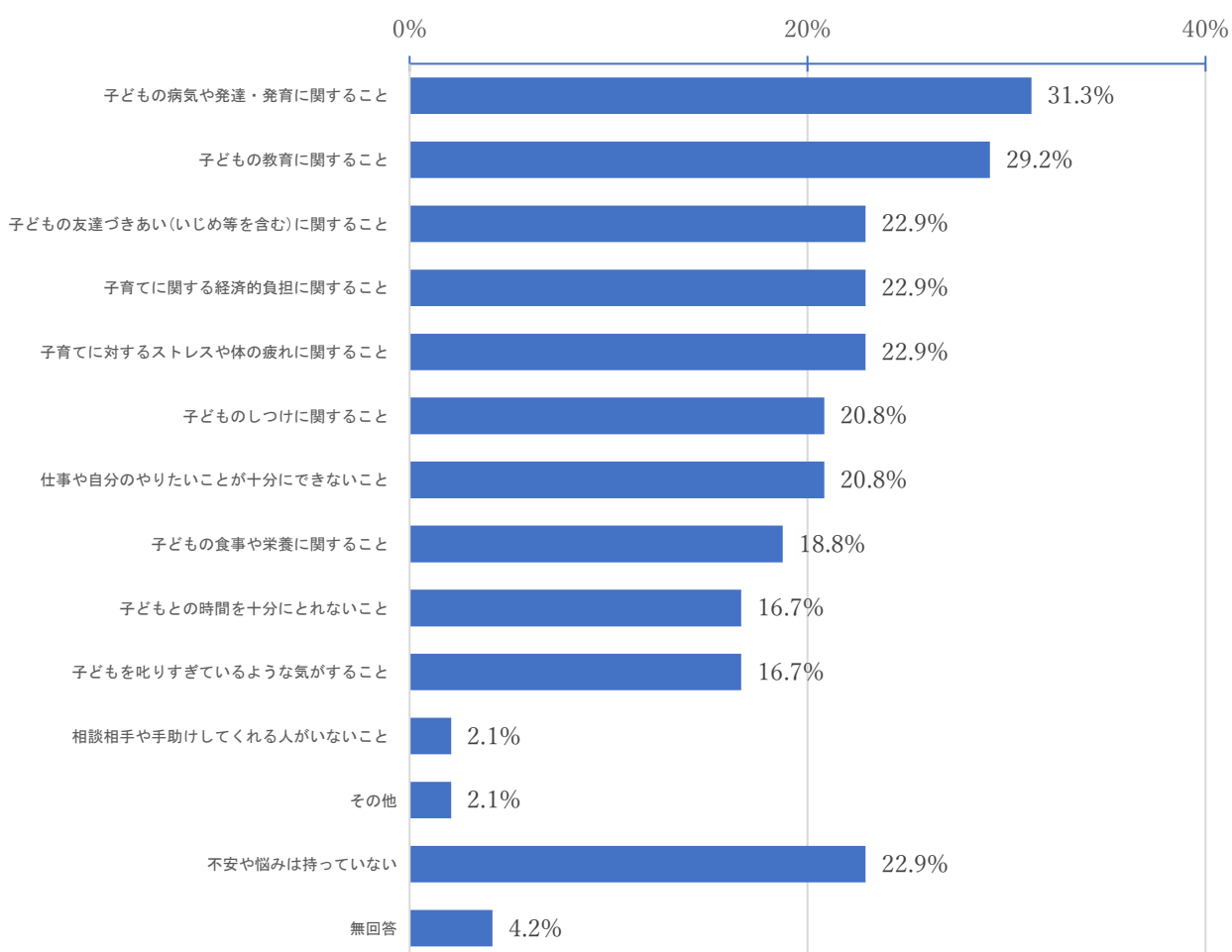
(60) 子育てをする上での不安や悩み

問32 あなたは、子育てをする上でどのような不安や悩みを持っていますか。【複数回答】

子育てをする上での不安や悩みについては、「子どもの病気や発達・発育に関すること」の割合が31.3%で最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」(29.2%)が続き、以下「子どもの友達づきあい(いじめ等を含む)に関すること」「子育てに関する経済的負担に関すること」「子育てに対するストレスや体の疲れに関すること」「不安や悩みは持っていない」(同率22.9%)、「子どものしつけに関すること」「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」(同率20.8%)などの順となっています。

子育てをする上での不安や悩み【複数回答】

全体 (n=48)



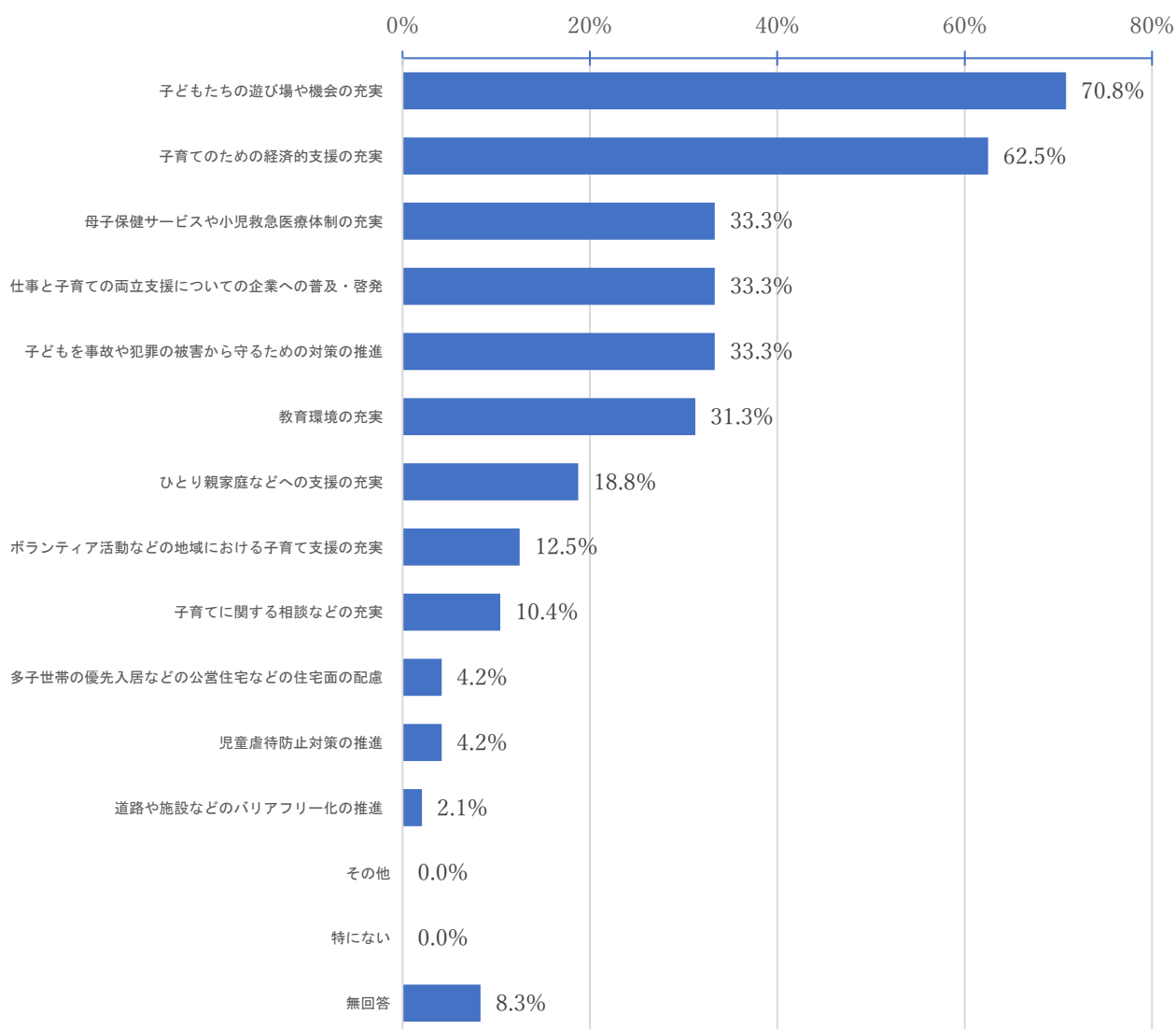
(61) 必要な子育て支援策

問33 あなたが必要だと思う子育て支援策は何ですか。【複数回答】

必要な子育て支援策については、「子どもたちの遊び場や機会の充実」の割合が70.8%で最も高く、次いで「子育てのための経済的支援の充実」(62.5%)が続き、以下「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」(同率33.3%)などの順となっています。

必要な子育て支援策【複数回答】

全体 (n=48)



(62) 本町の子育てのしやすさ

問34 本町では、地域社会全体で子どもの育成と子育て家庭の支援に取り組んでいます。あなたは、本町は子育てがしやすいまちだと感じますか。

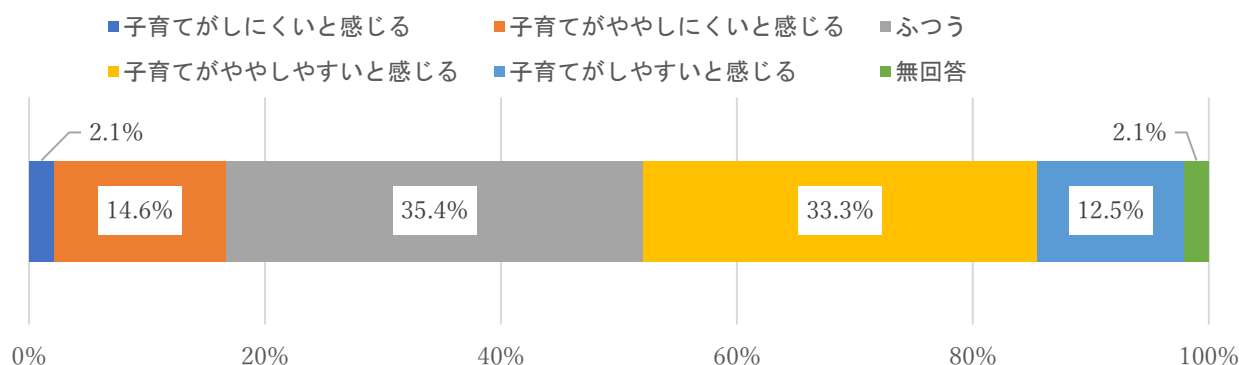
本町の子育てのしやすさについては、「ふつう」の割合が35.4%で最も高く、以下「子育てがややしやすいと感じる」(33.3%)、「子育てがややしにくいと感じる」(14.6%)、「子育てがしやすいと感じる」(12.5%)、「子育てがしにくいと感じる」(2.1%)の順となっています。

「子育てがしやすいと感じる」と「子育てがややしやすいと感じる」を合わせた“子育てがしやすい”の割合は45.8%となっています。

一方、「子育てがしにくいと感じる」と「子育てがややしにくいと感じる」を合わせた“子育てがややしにくい”の割合は16.7%にとどまります。

本町の子育てのしやすさ

全体 (n=48)



(63) 自由意見

問35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 苫前にも公園があると子供たちが休みの時に自由に遊んだりできていいと思う。子供が楽しめる施設や公園などぜひ作っていただきたいです。
- ・ 子どもの医療費助成など様々なところで苫前町が子育てを応援してくれていると感じます。ありがとうございます。
- ・ 農林公園を遊べる公園にしてほしいです
- ・ より良い教育、保育環境、子育ての環境の充実に人力を尽くしていただきありがとうございます。今後の働き手の減少を鑑みて、働く方々の環境をより良く（効率的に、負担が多くならないよう）人員の確保も必要かと思います。
- ・ こども園の先生方には、いつも感謝しています。細かい所への気配りがいつも感じられます。保育士の人数が少ないように思われます。先生方の負担が多い気がします。町でこれからの学生さんが保育士の資格を取る支援をしてはどうでしょうか？支援の条件として数年間、苫前こども園での勤務などを入れれば安定もするような気がします。同時に、苫前町に家庭を持つ可能性も出てくるので…
- ・ 公園など子供の遊べる場所が欲しい。保育園の途中の入園できないのが困る。（4月じゃないとは入れない）
- ・ 子供達のがのびのび遊べる遊具のある公園がもっとあるといいなと思います。
- ・ 人員が少ないと思うがファミリーサポートなどの事業があると何かあった時に頼れるのにな、と思う。高齢者が多い町だからこそ、そこと子育て支援を結びつけてボランティアで子どもを見てもらう機会を作ったり、そういった工夫をしたら良いのではないかと思う。すぐに仕事を休めない環境の家庭も多いと思うのでそこをサポートする事業があってほしいです。（病児保育、一時預かりなど）
- ・ 医療（小児科）が残念です。遠くまで行くのが大変です。夏はいいけど特に冬です。
- ・ 小学校で給食無償化になっているので、こども園の給食無償化を是非してほしいです。
- ・ お盆休み、GWなどの連休や春、夏、冬休みなどの預かり制度が欲しい
- ・ 第2子を出産したことを機に、第1子を保育園に通わせることができたのは、とても良かったと思っています。親の精神的、身体的負担の軽減はもちろん、子どもが思い切り運動できる環境を与えて下さった苫前町に感謝しております。
- ・ 公園など子供を連れて遊びに行く場所が少なすぎます。あと、鼻水、咳などのかるい風症状であれば近くに薬を出してもらえる所はありますが、中耳炎などになった時は車で2時間近く走らないと良い病院がないのは不安です。
- ・ 外遊びや自然の中でゆっくり過ごす時間を多くとれる支援があると嬉しいです。
- ・ 信頼出来る小児科が近くにない。
- ・ 遊び場が全然ない。
- ・ 夏場は仕事の休みがないので土日も預けやすい環境が欲しい。
- ・ 子供が体調不良で仕事が出来ない日があるので多少の風邪症状なら預けたり見ていてもらえると嬉しい。
- ・ 小学校低学年だとまだ一人でお留守番出来ないで土日預けられる場所があれば良いなと思う。
- ・ 小学生のように副食費免除してもらえたら助かる。

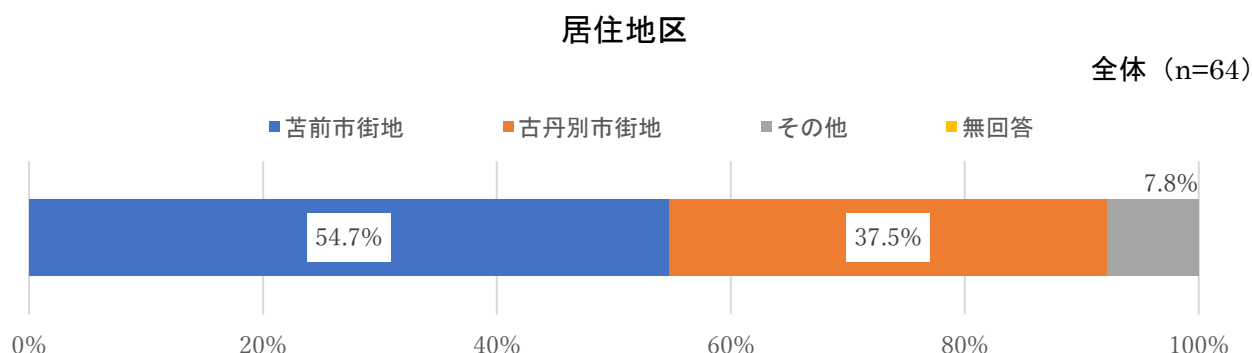
Ⅲ. 小学生児童アンケート調査結果

1 子どもとご家族の状況について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどちらですか。

居住地区については、「苫前市街地」の割合が54.7%で、「古丹別市街地」は37.5%となっています。

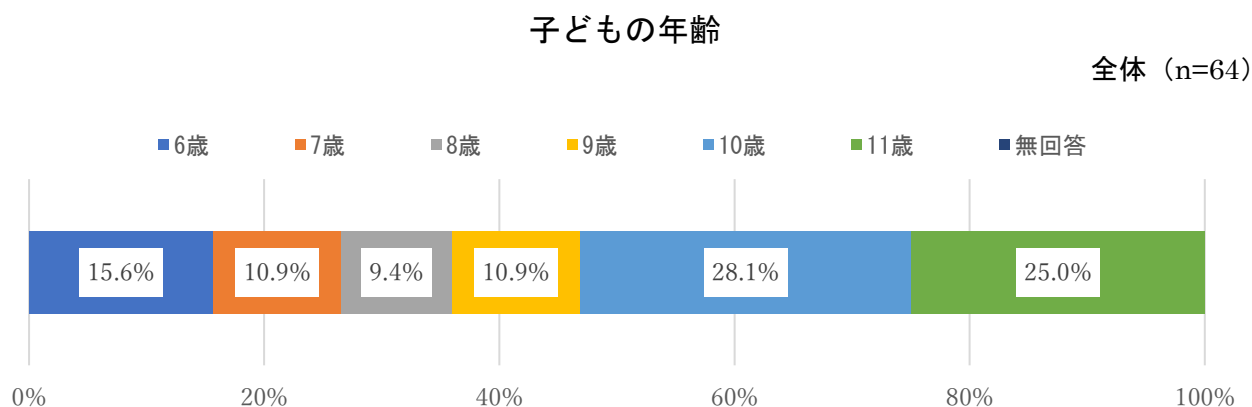


2 子どもとご家族の状況について

(2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢をお答えください。

子どもの年齢については、「11歳」の割合が28.1%で最も高く、次いで「11歳」(25.0%)が続く、以下「6歳」(15.6%)、「7歳」「9歳」(同率10.9%)、8歳(9.4%)の順となっています。



(3) 子どもの人数と末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

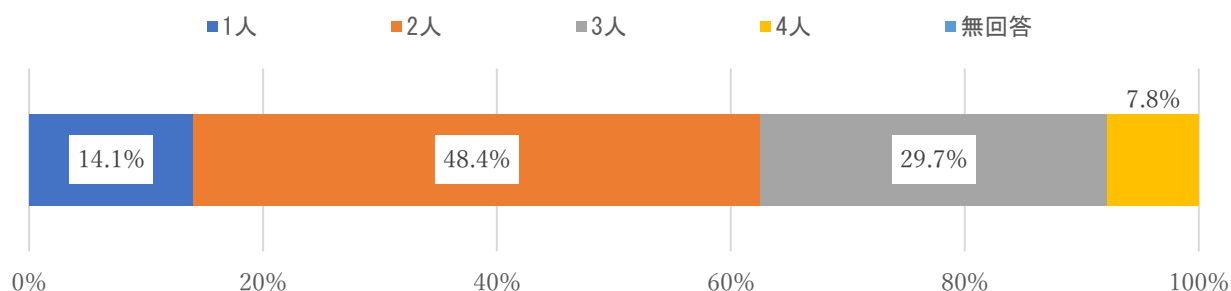
※宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の年齢をお答えください。

子どもを含めたきょうだいの人数については、「2人」の割合が48.4%で最も高く、次いで「3人」(29.7%)が続き、以下「1人」(14.1%)、「4人」(7.8%)の順となっています。

子どもの人数

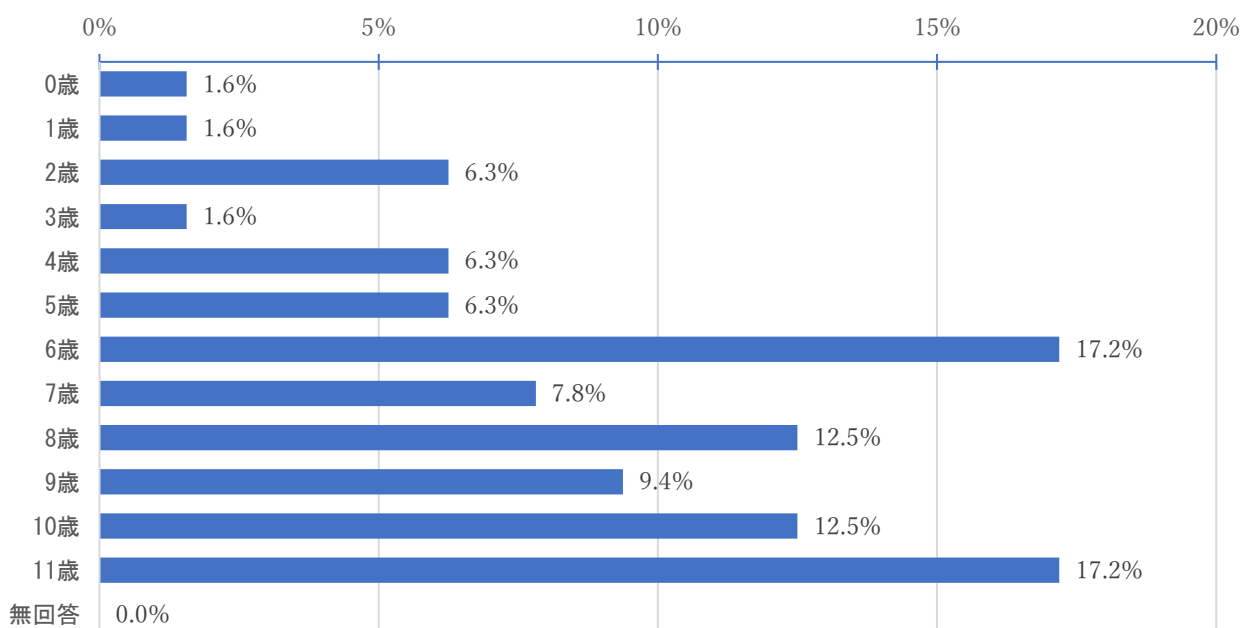
全体 (n=64)



子どもにきょうだいがいる場合の末子の年齢については、「6歳」と「11歳」の割合が同率17.2%で最も高く、次いで「8歳」「10歳」(同率12.5%)が続き、以下「9歳」(9.4%)、「7歳」(7.8%)などの順となっています。

末子の年齢

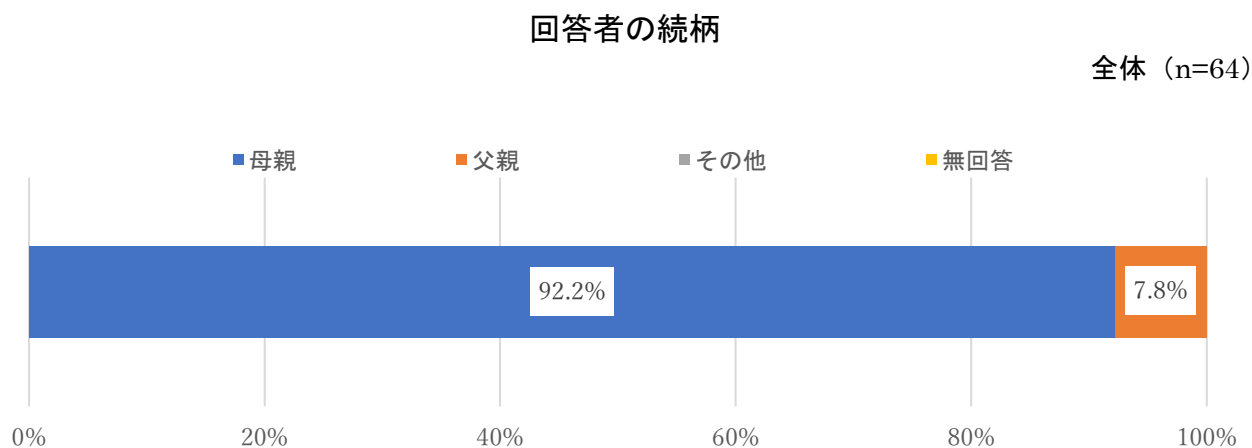
全体 (n=64)



(4) 回答者の続柄

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

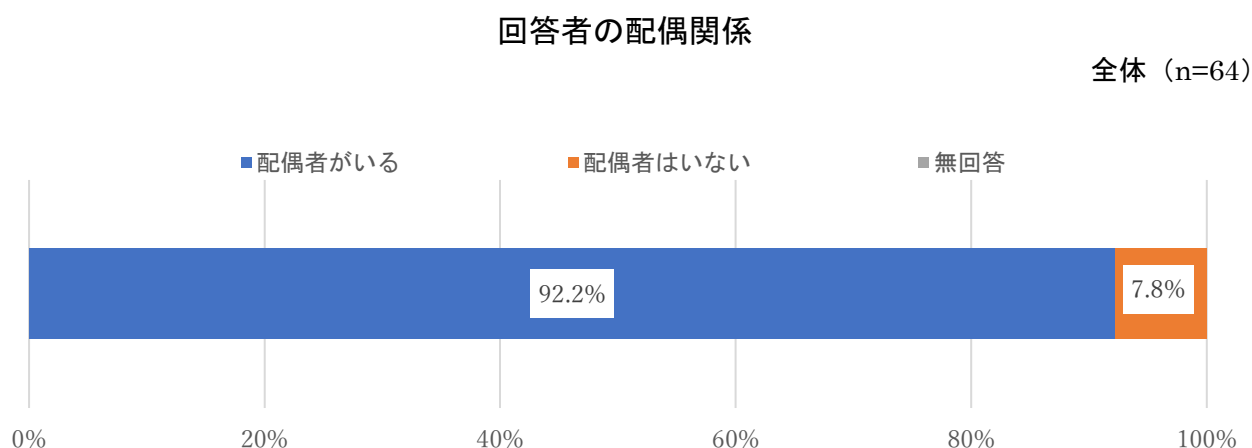
回答者の続柄については、「母親」の割合が92.2%で「父親」(7.8%)の割合を大きく上回っています。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

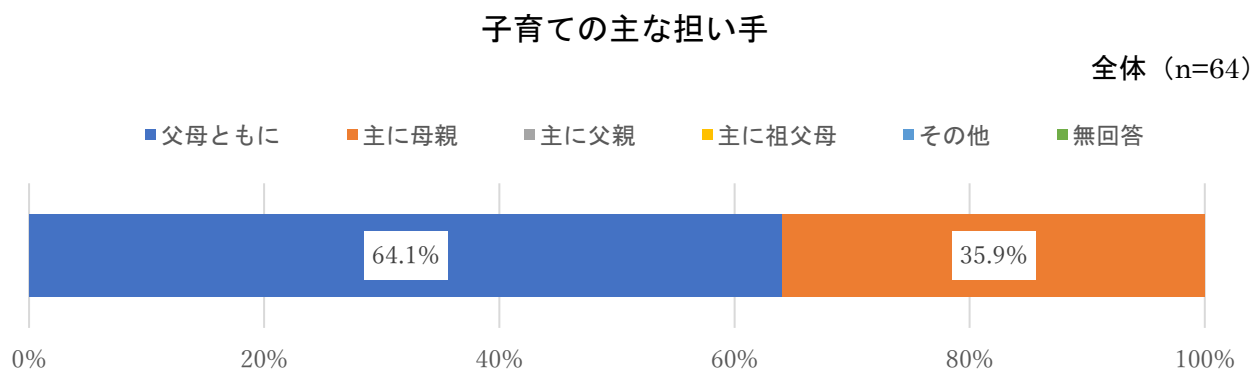
回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」の割合が92.2%で「配偶者はいない」(7.8%)の割合を大きく上回っています。



(6) 子育ての主な担い手

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

子育ての主な担い手については、「父母ともに」の割合が64.1%で最も高く、次いで「主に母親」（35.9%）が続いています。



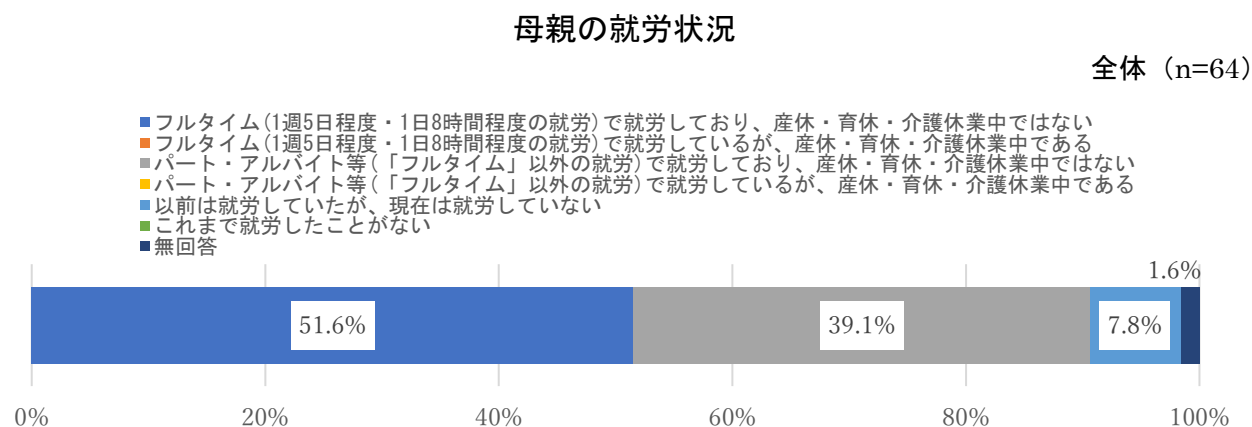
3 保護者の就労状況について

(7) 保護者の就労状況

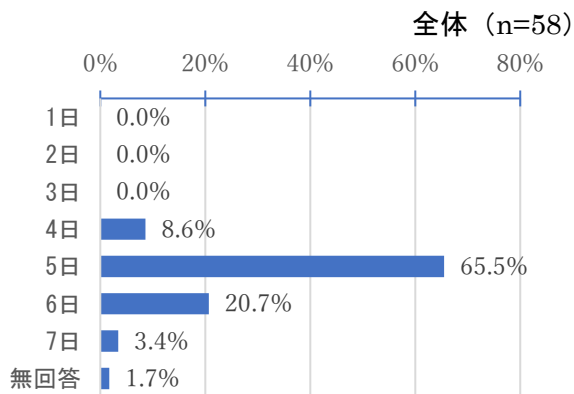
問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

①母親の就労状況

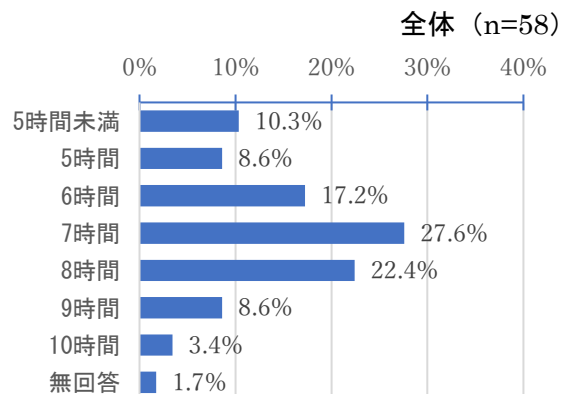
母親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が51.6%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（39.1%）が続き、以下「以前は就労していたが、現在は就労していない」（7.8%）の順となっています。



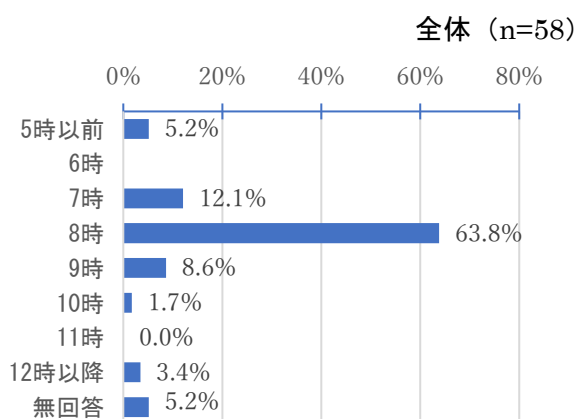
母親の1週当たりの就労日数



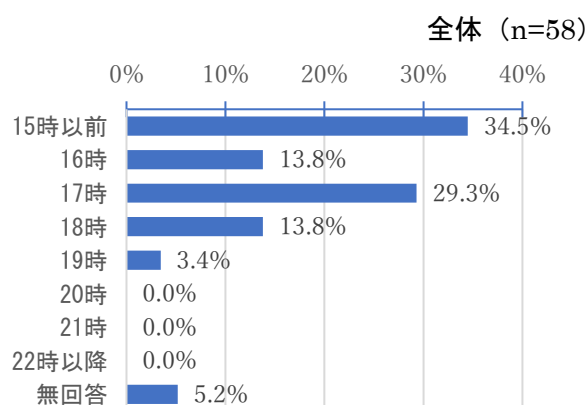
母親の1日当たりの就労時間



母親が家を出る時刻



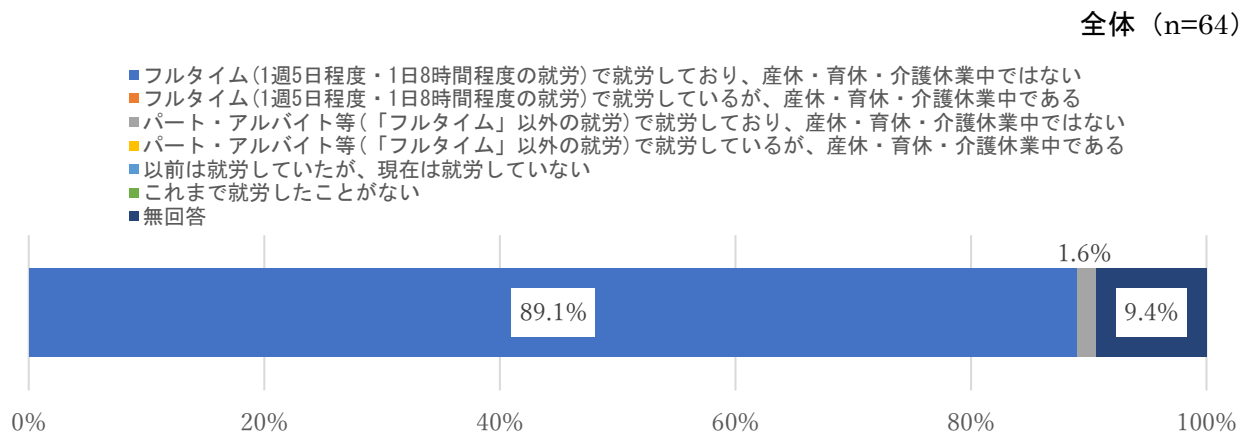
母親の帰宅時刻



②父親の就労状況

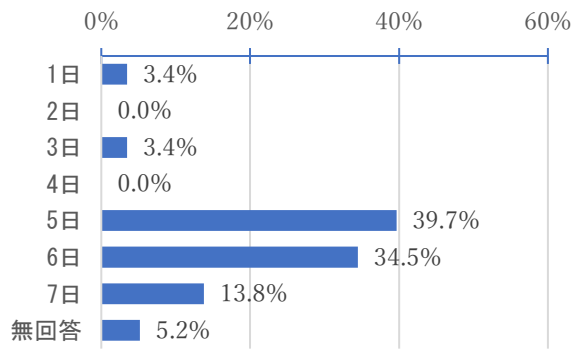
父親の就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が89.1%で最も高く、9割弱を占めます。

父親の就労状況



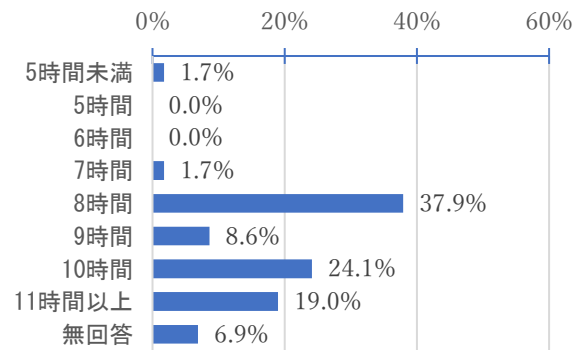
父親の1週当たりの就労日数

全体 (n=58)



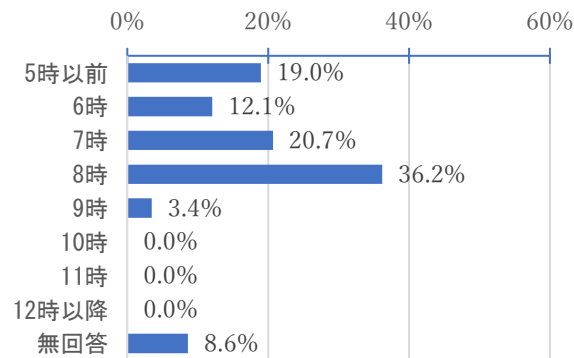
父親の1日当たりの就労時間

全体 (n=58)



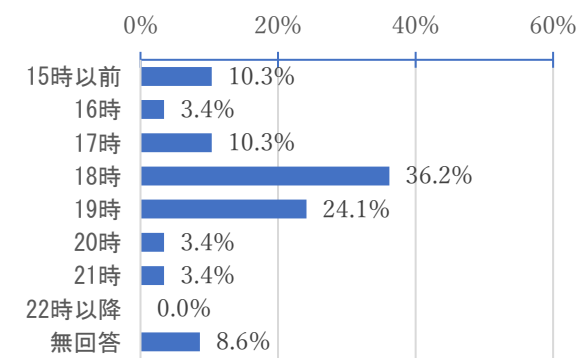
父親が家を出る時刻

全体 (n=58)



父親の帰宅時刻

全体 (n=58)



(8) 保護者のフルタイムへの転換希望

問7で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

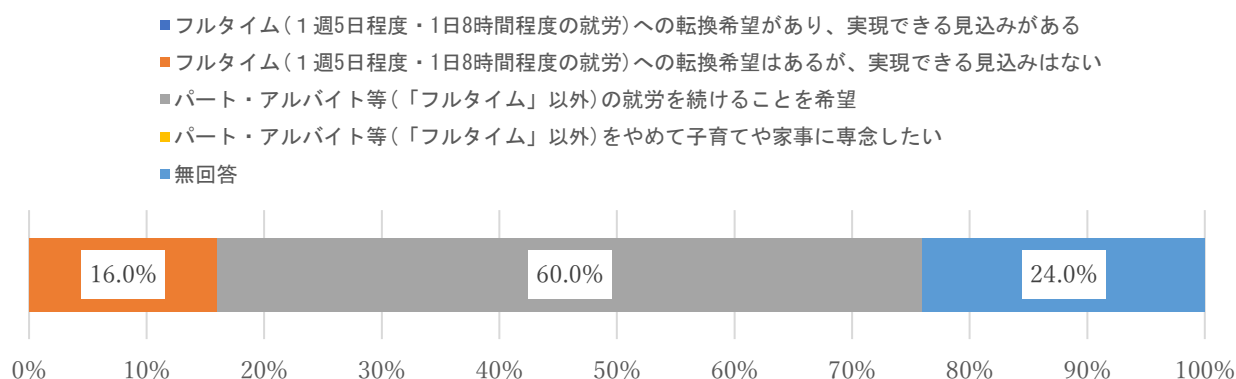
問8 フルタイムへの転換希望はありますか。

①母親のフルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が60.0%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」（24.0%）が続き、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（16.0%）の順となっています。

母親のフルタイムへの転換希望

全体（n=25）



②父親のフルタイムへの転換希望

父親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」が1人となっています。

父親のフルタイムへの転換希望

選択肢	n（人）
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	1
全体	1

(9) 保護者の就労希望

問7で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問9 就労したいという希望はありますか。

①母親の就労希望

母親の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が4人の割合が最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1人となっています。

母親の就労希望形態

選択肢	n (人)
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	4
1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい	0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1
無回答	0

母親の就労希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望就労形態は、「パートタイム・アルバイト等」が1人となっています。

母親の希望就労形態

選択肢	n (人)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	0
パートタイム・アルバイト等	1
全体	1

母親の1週当たりの就労希望日数

選択肢	n (人)
5日	1
全体	1

母親の1日当たりの就労希望時間

選択肢	n (人)
4時間	1
全体	1

②父親の就労希望

父親の就労希望については、該当者がいませんでした。

3 子どもの放課後の過ごし方について

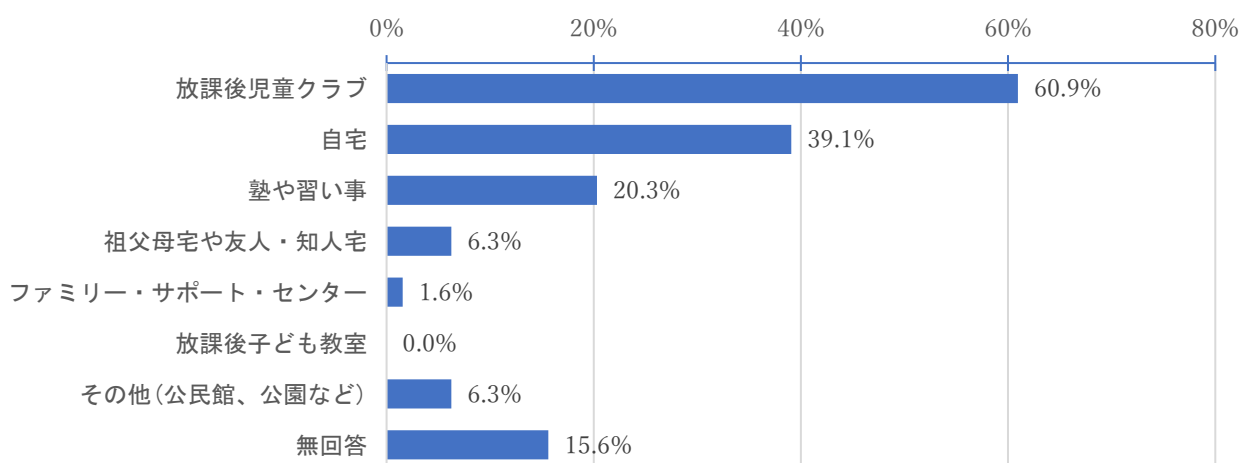
(10) 小学校 1～3 年生の間の放課後の利用希望場所

問10 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごしていましたか。
【複数回答】

小学校1～3年生の間の放課後の利用希望場所については、「放課後児童クラブ」の割合が60.9%で最も高く、次いで「自宅」(39.1%)が続き、以下「塾や習い事」(20.3%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(6.3%)などの順となっています。

小学校 1～3 年生の間の放課後の利用場所【複数回答】

全体 (n=64)

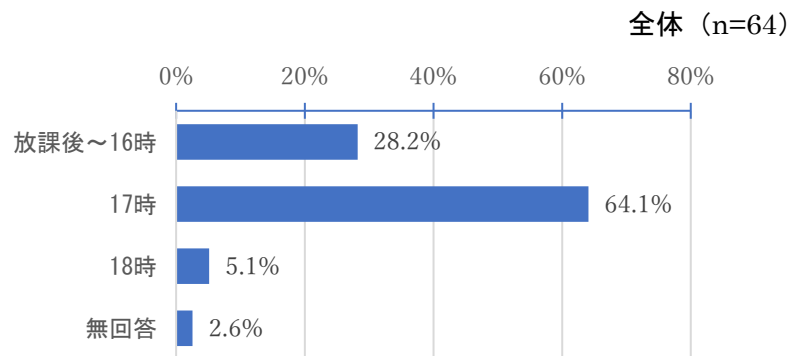


1 週間の利用日数

上段（人数）、下段（割合）

選択肢	全体	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日以上	無回答
自宅	25 100.0%	1 4.0%	4 16.0%	5 20.0%	0 0.0%	15 60.0%	0 0.0%
祖父母宅や友人・知人宅	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
塾や習い事	13 100.0%	3 23.1%	4 30.8%	3 23.1%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%
放課後子ども教室	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
放課後児童クラブ	39 100.0%	1 2.6%	3 7.7%	4 10.3%	3 7.7%	27 69.2%	1 2.6%
ファミリー・サポート・センター	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他(公民館、公園など)	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%

放課後児童クラブの利用終了時刻

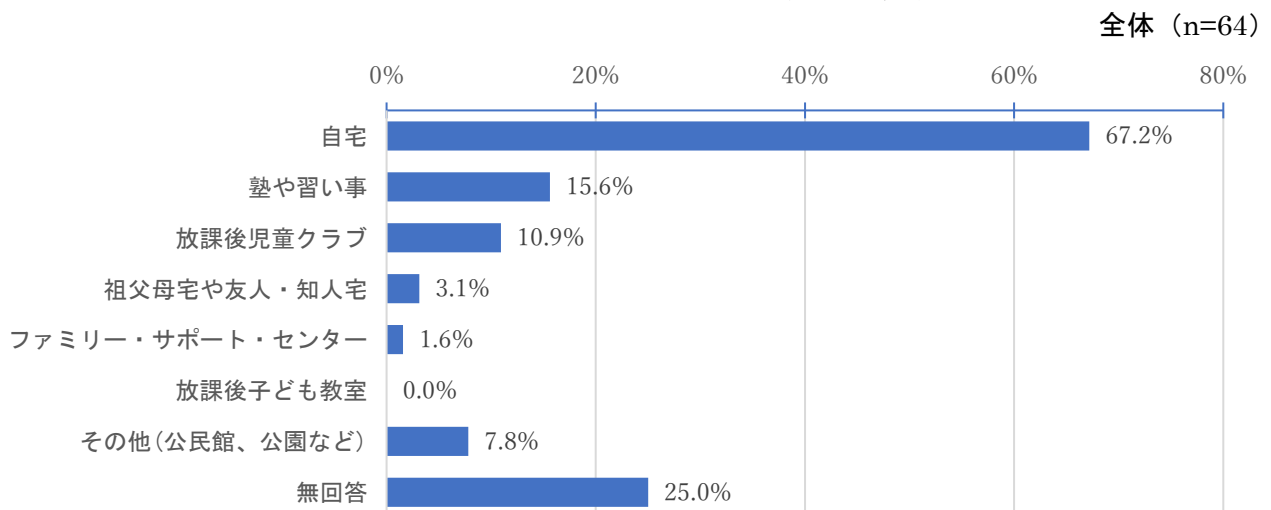


(11) 小学校4～6年生の間の放課後の利用希望場所

問11 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）時は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。
【複数回答】

小学校4～6年生の間の放課後の利用希望場所については、「自宅」の割合が67.2%で最も高く、次いで「塾や習い事」（15.6%）が続き、以下「放課後児童クラブ」（10.9%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（3.1%）などの順となっています。

小学校4～6年生の間の放課後の利用場所【複数回答】



1 週間の利用日数

上段（人数）、下段（割合）

選択肢	全体	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日以上	無回答
自宅	43 100.0%	1 2.3%	3 7.0%	4 9.3%	1 2.3%	34 79.1%	0 0.0%
祖父母宅や友人・知人宅	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
塾や習い事	10 100.0%	3 30.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
放課後児童クラブ	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%
ファミリー・サポート・センター	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他(公民館、公園など)	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	5 100.0%

放課後児童クラブの利用終了時刻

選択肢	n（人）
16 時	1
17 時	5
18 時	1
無回答	0
全体	7

(12) 土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問10または問11で「放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

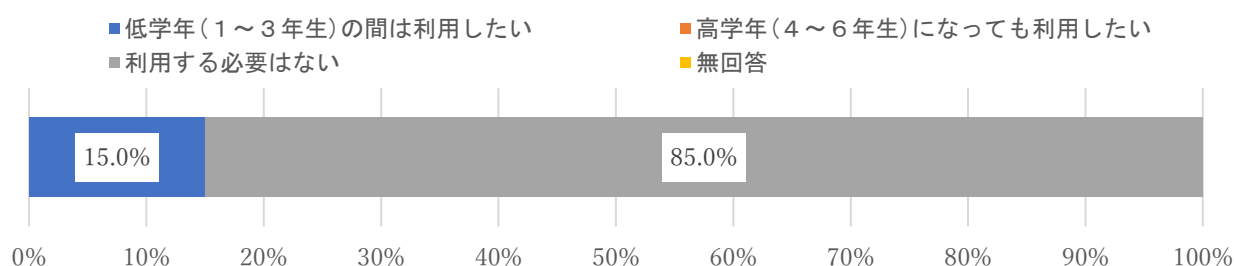
問12 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

①土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」の割合が85.0%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（15.0%）が続いています。

土曜日の放課後児童クラブの利用希望

全体（n=40）



希望する利用開始時刻

選択肢	n（人）
8時	3
9時	2
無回答	1
全体	6

希望する利用終了時刻

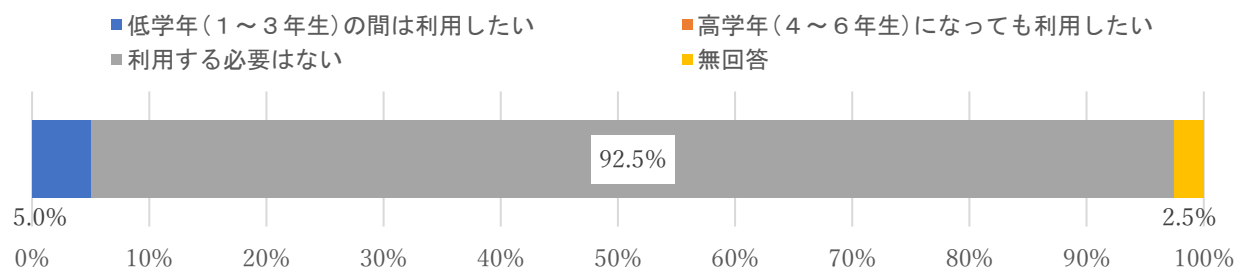
選択肢	n（人）
12時	2
16時	1
17時	2
無回答	1
全体	6

②日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」の割合が92.5%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（5.0%）が続いています。

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

全体（n=40）



希望する利用開始時刻

選択肢	n（人）
9 時	1
無回答	1
全体	2

希望する利用終了時刻

選択肢	n（人）
17 時	1
無回答	1
全体	2

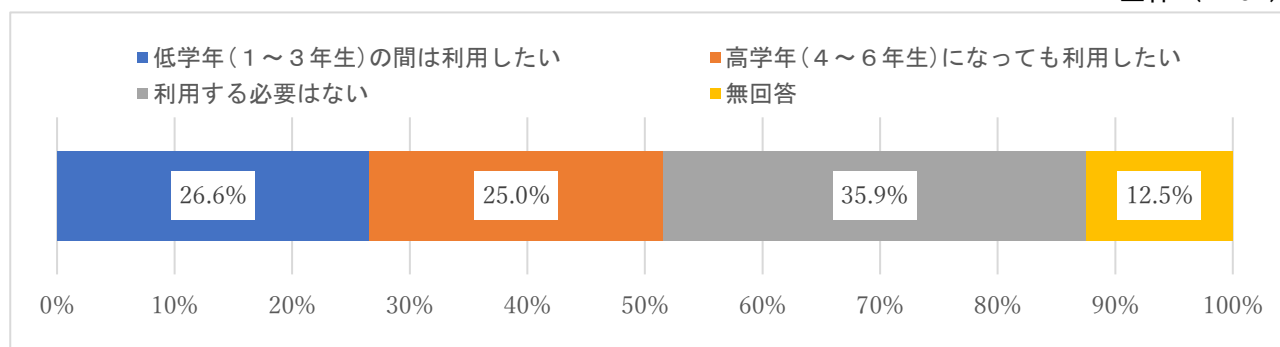
(13) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」の割合が35.9%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（26.6%）が続き、以下「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（25.0%）の順となっています。

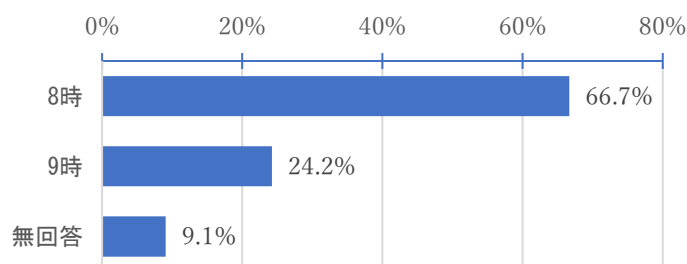
長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

全体（n=64）



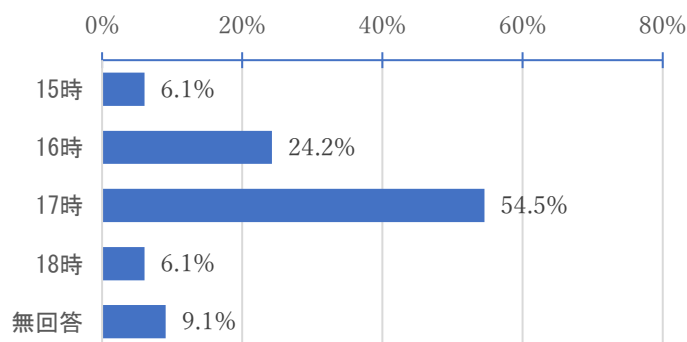
希望する利用開始時刻

全体（n=33）



希望する利用終了時刻

全体（n=33）



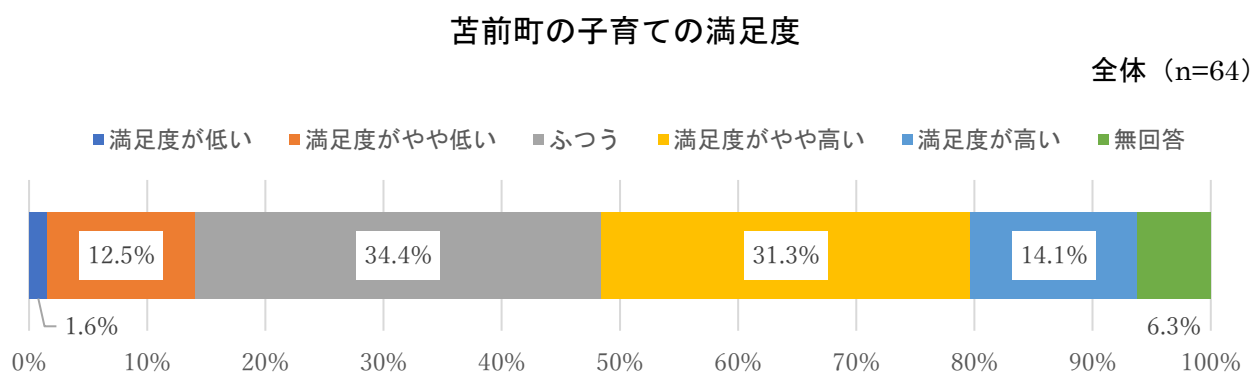
(14) 苫前町の子育ての満足度

問14 苫前町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

苫前町の子育ての満足度については、「ふつう」の割合が34.4%で最も高く、以下「満足度がやや高い」(31.3%)、「満足度が高い」(14.1%)、「満足度がやや低い」(同率12.5%)、「満足度が低い」(1.6%)の順となっています。

「満足度が高い」と「満足度がやや高い」を合わせた“満足度が高い”の割合は45.4%となっています。

一方、「満足度が低い」と「満足度がやや低い」を合わせた“満足度が低い”の割合は14.1%にとどまります。



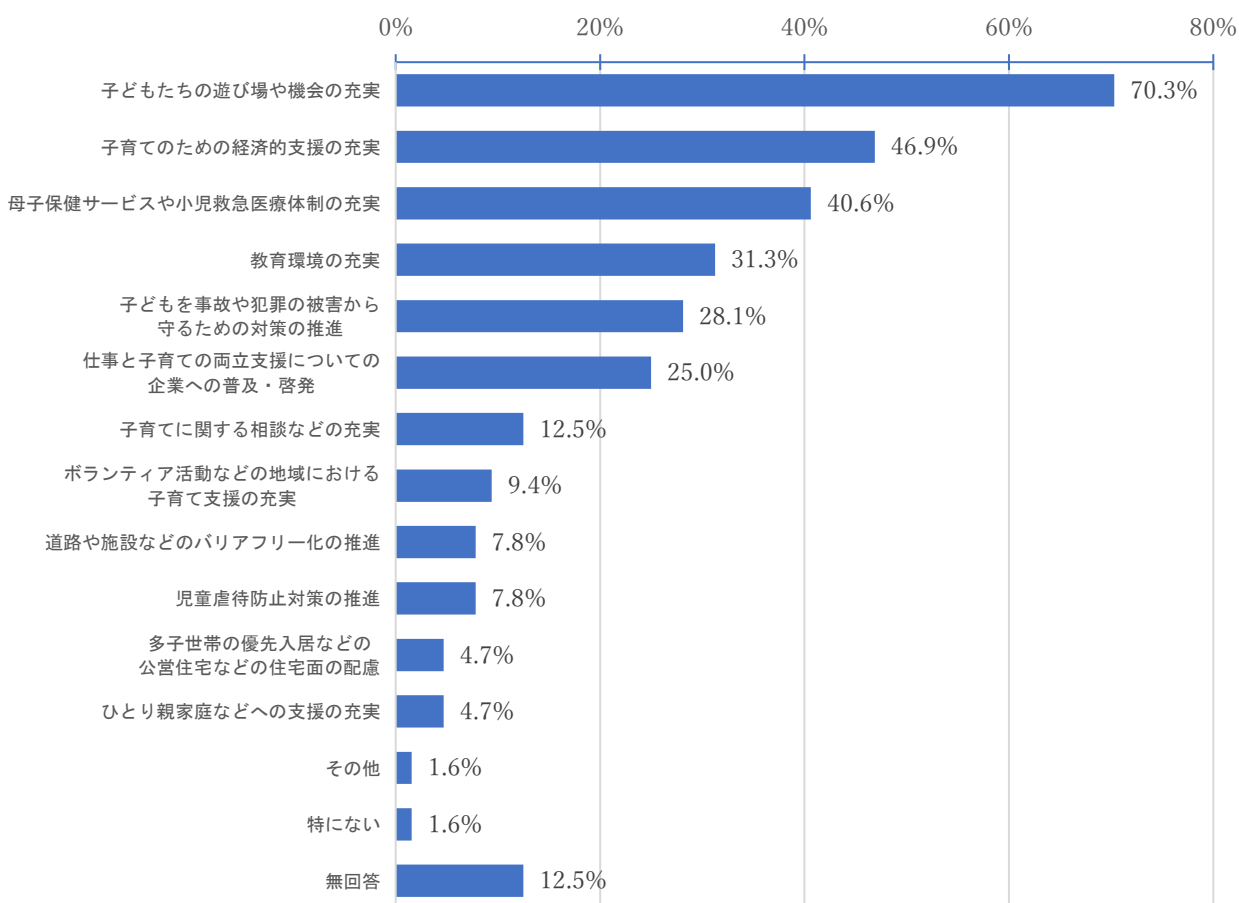
(15) 必要な子育て支援策

問15 あなたが必要だと思う子育て支援策は何ですか。【複数回答】

必要な子育て支援策については、「子どもたちの遊び場や機会の充実」の割合が70.3%で最も高く、次いで「子育てのための経済的支援の充実」(46.9%)が続き、以下「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」(40.6%)、「教育環境の充実」(31.3%)、「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」(28.1%)、「仕事と子育ての両立支援についての企業への普及・啓発」(25.0%)などの順となっています。

必要な子育て支援策【複数回答】

全体 (n=64)



(16) 本町の子育てのしやすさ

問16 本町では、地域社会全体で子どもの育成と子育て家庭の支援に取り組んでいますが、あなたは、本町は子育てがしやすいまちだと感じますか。

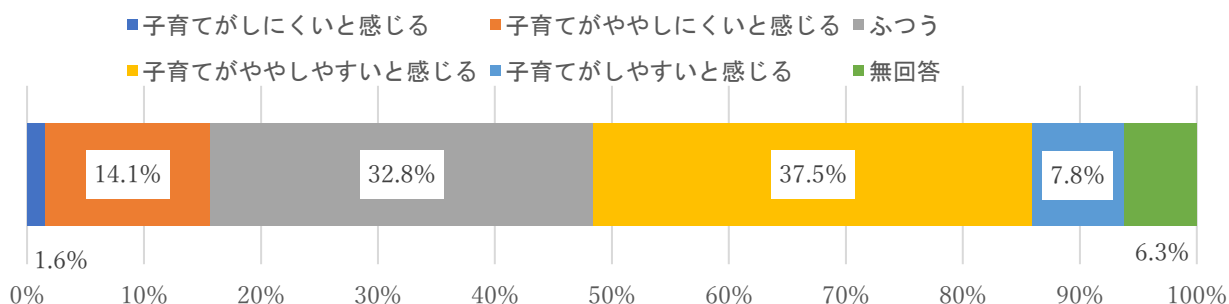
本町の子育てのしやすさについては、「子育てがややしやすいと感じる」の割合が37.5%で最も高く、以下「ふつう」(32.8%)、「子育てがややしにくいと感じる」(14.1%)、「子育てがしやすいと感じる」(7.8%)、「子育てがしにくいと感じる」(1.6%)の順となっています。

「子育てがしやすいと感じる」と「子育てがややしやすいと感じる」を合わせた“子育てがしやすい”の割合は45.3%となっています。

一方、「子育てがしにくいと感じる」と「子育てがややしにくいと感じる」を合わせた“子育てがややしにくい”の割合は15.7%にとどまります。

本町の子育てのしやすさ

全体 (n=64)



(17) 自由意見

問17 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・放課後児童クラブについて、古丹別と苫前で大きな差を感じます。出来るならば同じようにして欲しい。又、保育園でなく、学校に隣接していたら便利だと思いました。子供達が遊ぶ場所が少ないと感じます。室内(例えば公民館、コミュニティーセンター)一室を子供達が遊べるように開放するなど出来ないでしょうか?と疑問に思います。
- ・お盆休みや春、夏休み、冬休みなどの学童の利用改善→有休をここではほぼ使用するしかなくなり、子供が急に熱を出したりなどしたとき有休を使えず意味がない
- ・自宅周辺に歩道がないため危険を感じる事が多々あります。子供達が安心して自転車など乗って遊びに行けるよう歩道を作って頂きたいです。公園も少な過ぎると思います。
- ・小児科がなく病院へ1時間以上車で行かなくてはならないのが不便。
- ・遊ぶところも園庭しかない。
- ・子供が少ないので学校の役員など何度もやらなくてはならないなど負担が多い。苫前と合併など視野に入れてほしい。
- ・給食の無償化を続けて欲しいです。
- ・修学旅行時の交通費を町が負担してくれていること、給食費が無償であること、漢検・英検の検定料を町が出していること、大変ありがたいです。
- ・中学校が統合して2年目です。住んでいる地区で差が出ないよう子供や家庭目線で物事を進めていってほしいです。
- ・苫前には公園など子供達が自由に遊べる所がなく不便さを感じる。古丹別ばかり公園を直したりせず苫前にも子供たちが遊べる所をぜひ作ってほしいです。
- ・小学生(高学年)が遊んだり、学んだりする施設があると働いている親としては助かります。(苫前市街地の図書館・遊具のある公園、運動施設など)子供と大人と一緒に利用できる施設で子供の視野を広げて預けるとありがたいです。
- ・出生数の減少が著しいのでスピード感ある対応が望まれる。また戸建てを求める一定数がいるのにも関わらず、対策がない。一部の方たちだけがすぐに手に入れてしまう傾向がある。
- ・頼れる祖父母がいない、保育園にもまだ入れていない子がいる家庭への一時預かりサービスがあると助かると思います。
- ・公園などの遊べる所がないので遊具の管理も含め長期的に維持していただける場所を作って欲しいです。
- ・放課後児童クラブだけではなく、一時的に利用できる場所があったら良いと思う。土日祝日に1、2時間だけでも預けられたら子供がいるとできない作業ができる。
- ・苫前地区は子供達が遊べる場所が少ない。古丹別地区はスポーツセンターや公民館があり良いが、苫前は公園も充実しておらず残念。
- ・子供達が安心して外で遊べる所がない。せめて農村公園をきれいに整備してほしい。(木で囲まれているため不審者が心配)
- ・遊べる公園がないのであれば嬉しい。室内の遊び場もできれば嬉しいです。
- ・外で友達と約束等するが大人の目が少ない時が多々あるなど感じました。人通りありませんし、何かあった時の目撃者がいないかもしれませんね。人口が少ない、ご年配が多いですから仕方がないかもしれませんね。キッズ携帯を持たせることに、うちはしました。公園等があれば良いのですが…今は学校グラウンド・センター・園庭で遊んでいる様ですが…。
- ・体を鍛えるような公園があれば良いと思う。そして遊具の点検、手入れをして欲しい。割と今まで作って放置、遊具が壊れたら破棄で、ベンチのみの公園になる気がする。そうなのであれば、お金がもったいないのでいい。
- ・子どもが遊べる場所がないので、公園などの遊び場が欲しいです。

苫前町子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書

令和6年11月

発行：苫前町教育委員会 子ども教育課
TEL：0164-64-2384